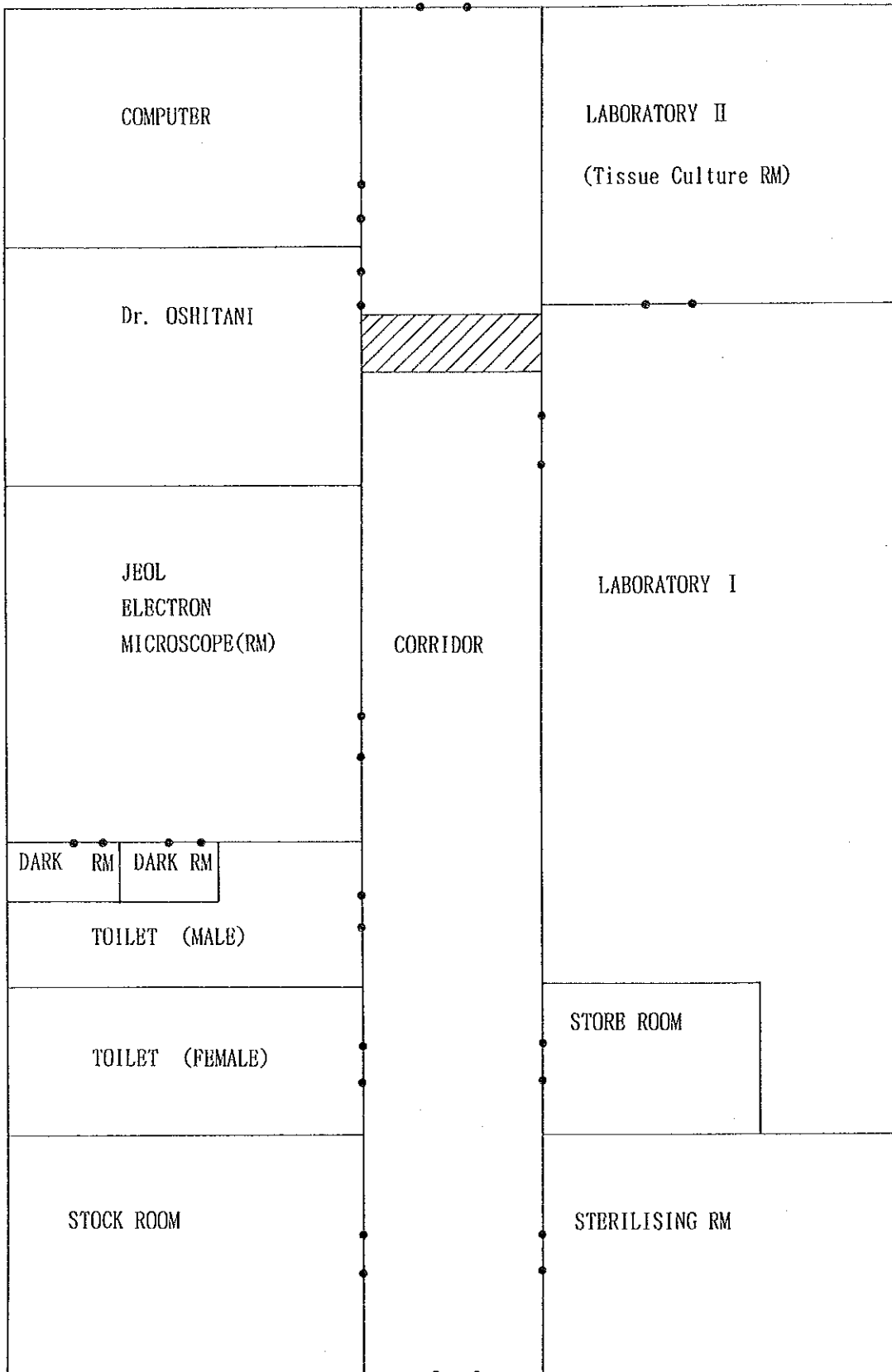


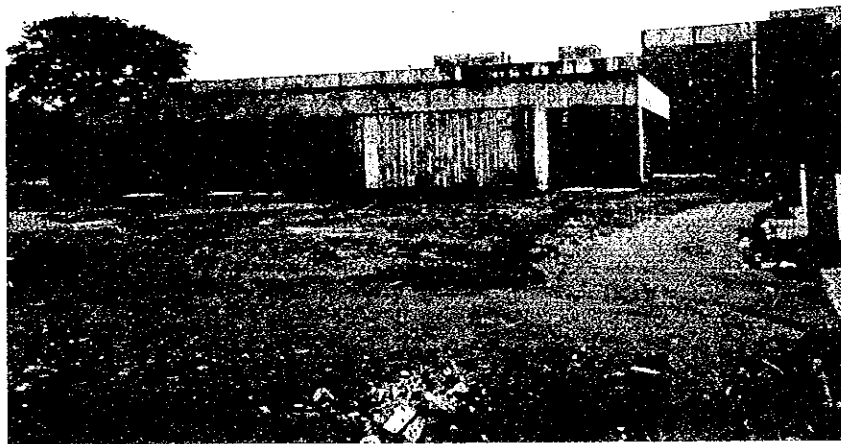
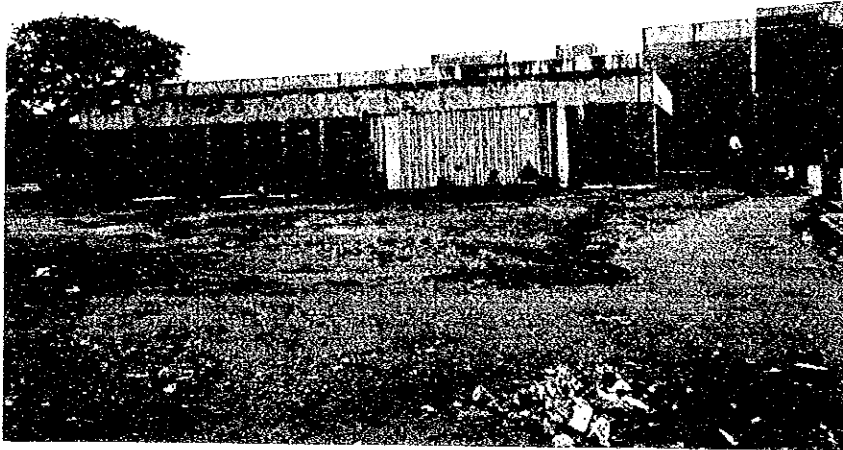
第3章 点検調整報告

3-1 医学研究機器（ウイルス検査室）

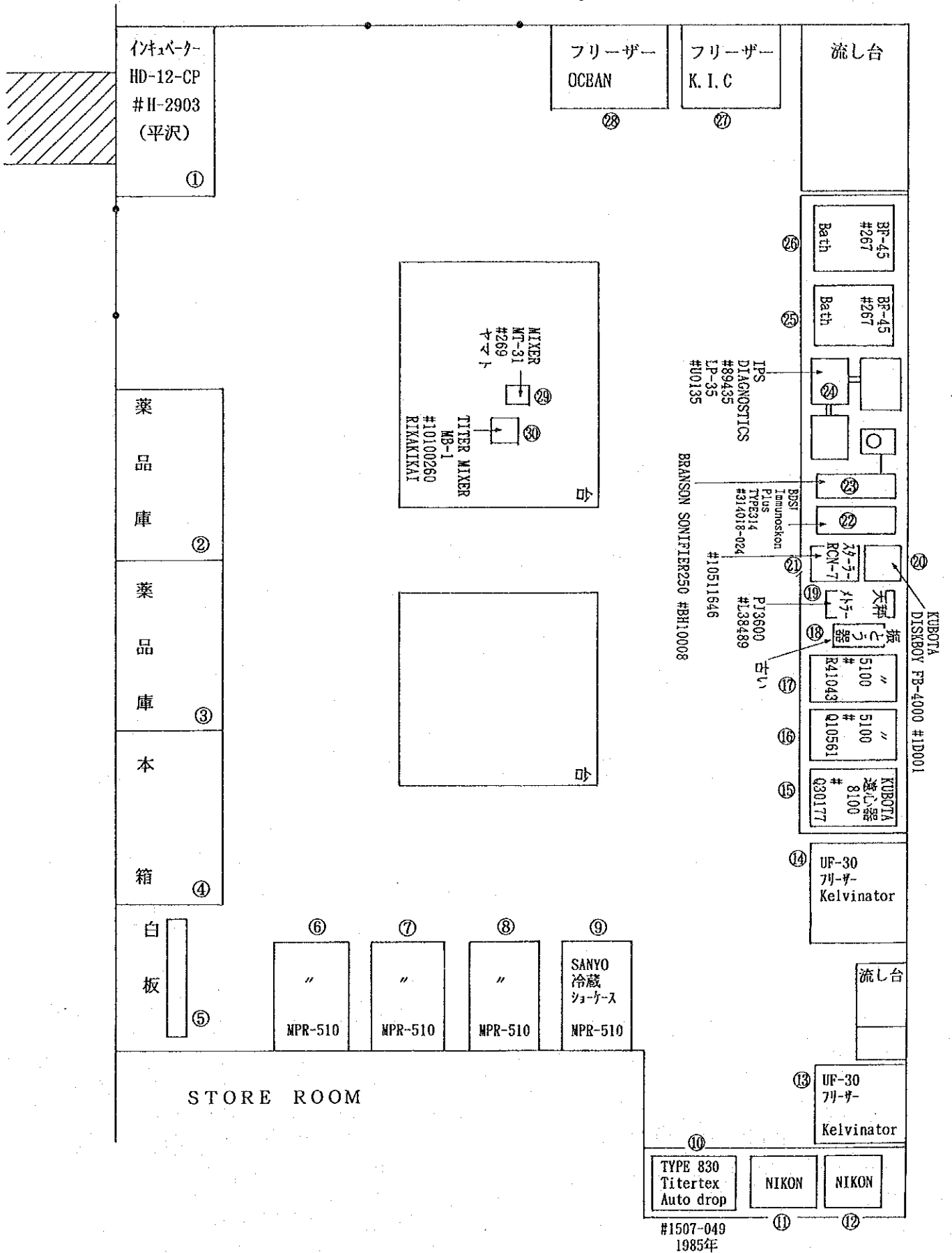
VIROLOGY LABORATORY



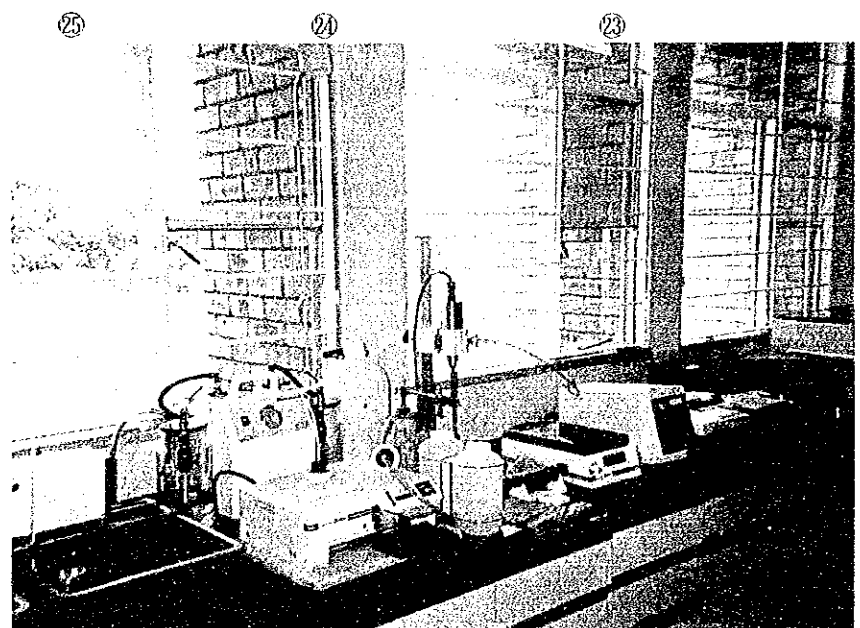
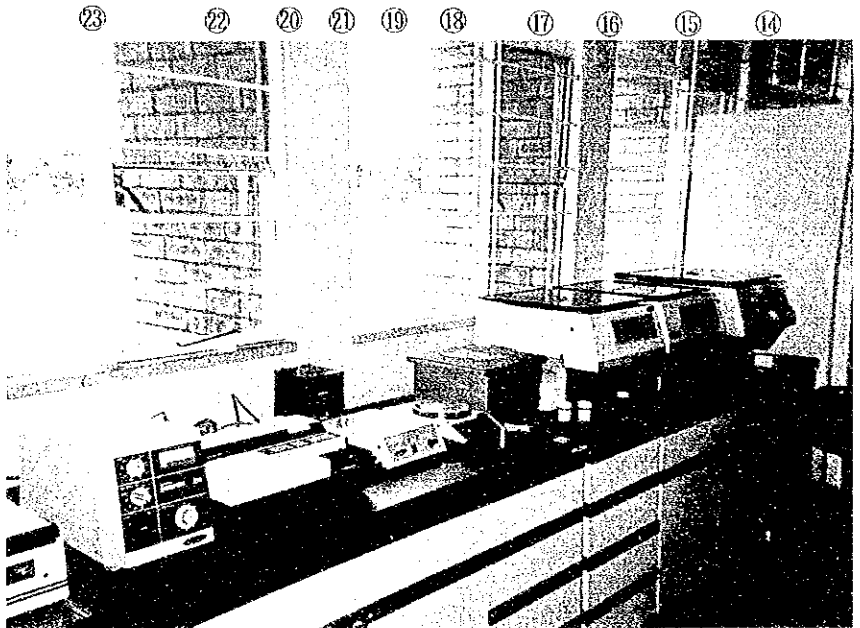
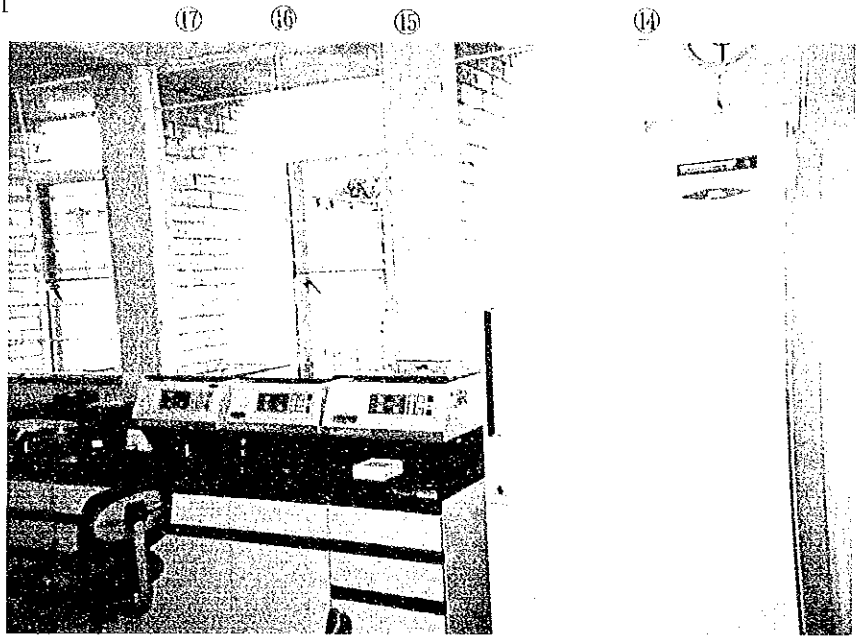
VIROLOGY LABORATORY



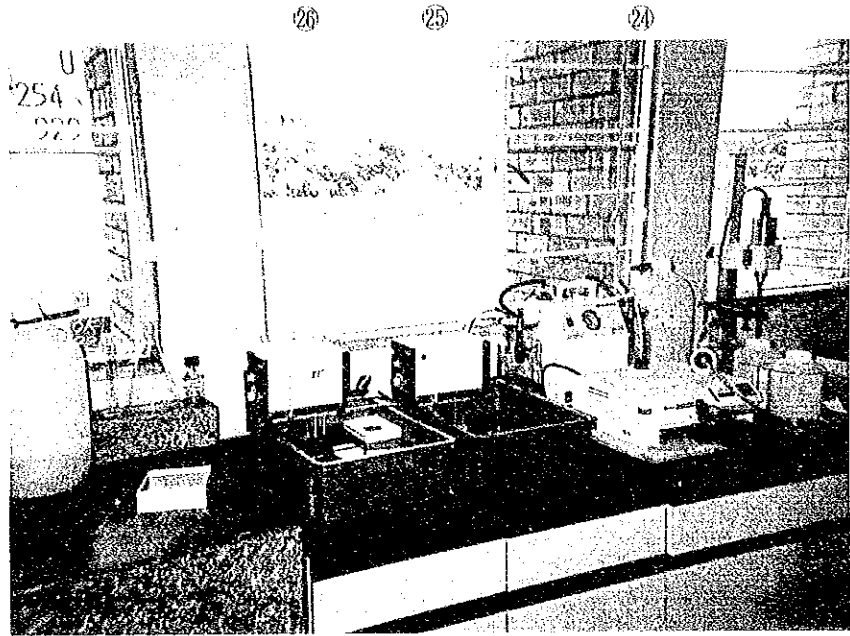
LABORATORY I



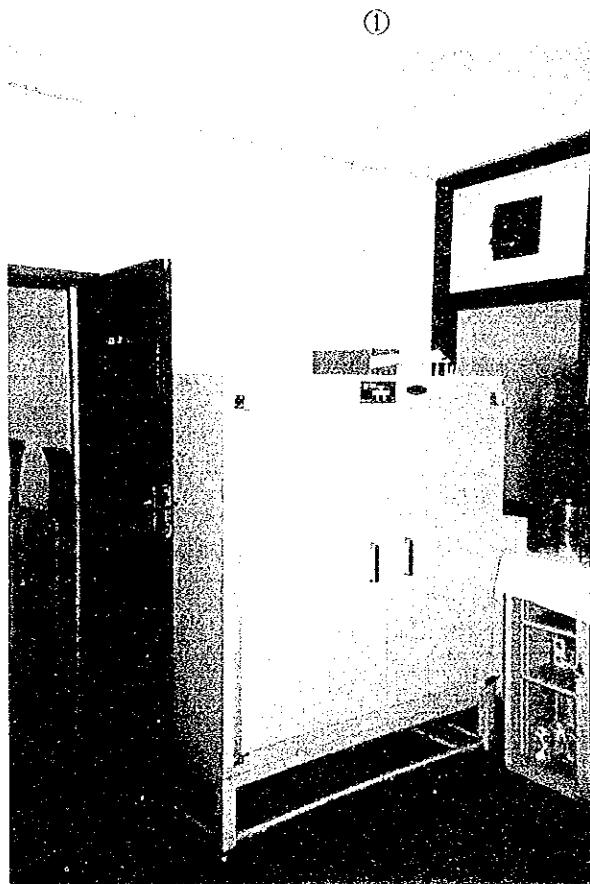
- ⑭ フリーザー(Kelvinato)
- ⑮ 遠心器 8100
- ⑯⑰ 遠心器 5100
- ⑱ 振とう器
- ⑲ 天秤
- ⑳ 小型遠心器
- ㉑ スターラー
- ㉒ Immunoskan(Plus)
- ㉓ ソニファイヤ(超音波粉碎機)
- ㉔ DIAGNOSTICS(IPS)
- ㉕ 恒温水槽



④ DIAGNOSTICS (IPS)
⑤⑥ 恒温水槽

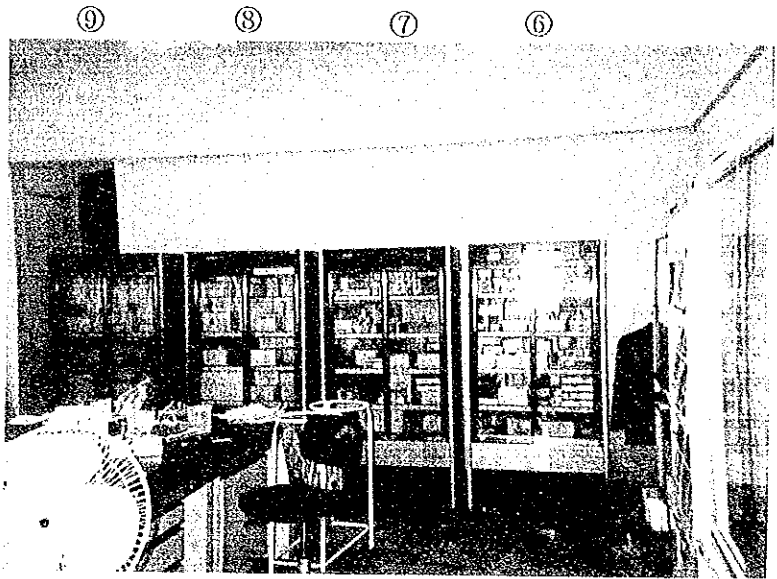


インキュベーター

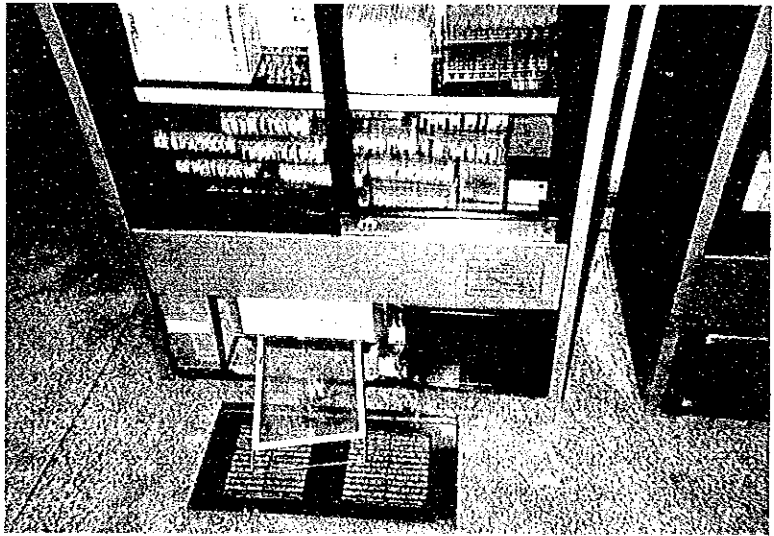


LABORATORY I

No. 3

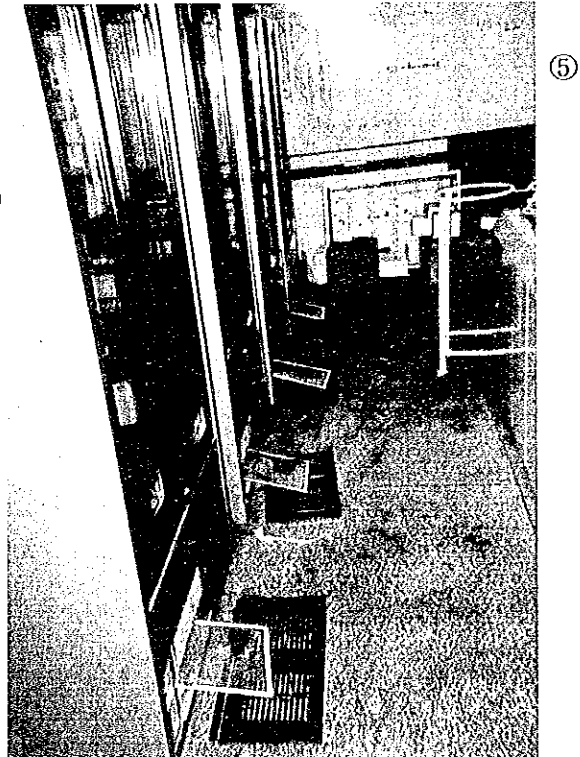


⑨



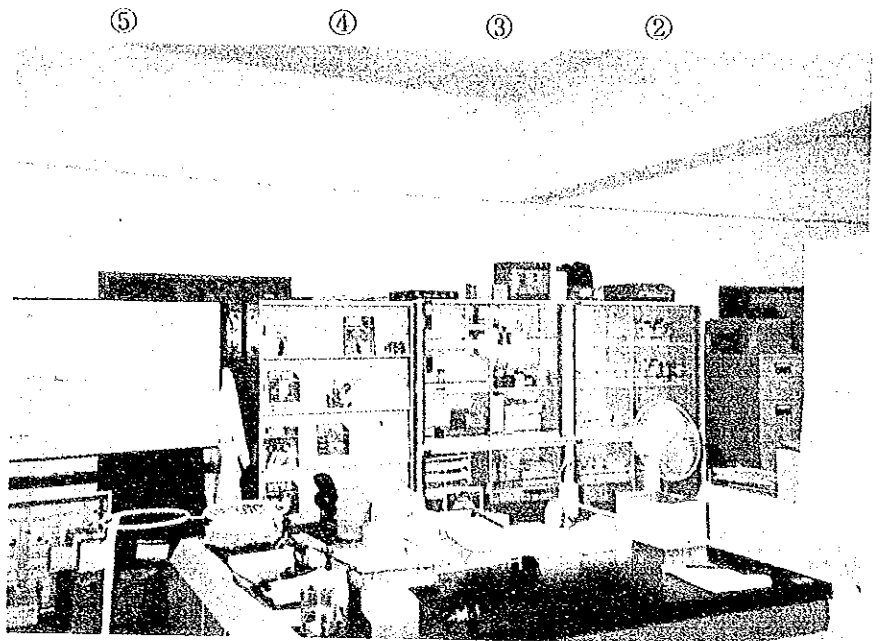
⑨ ⑧ ⑦ ⑥

冷蔵ショーケース



LABORATORY I

No. 4



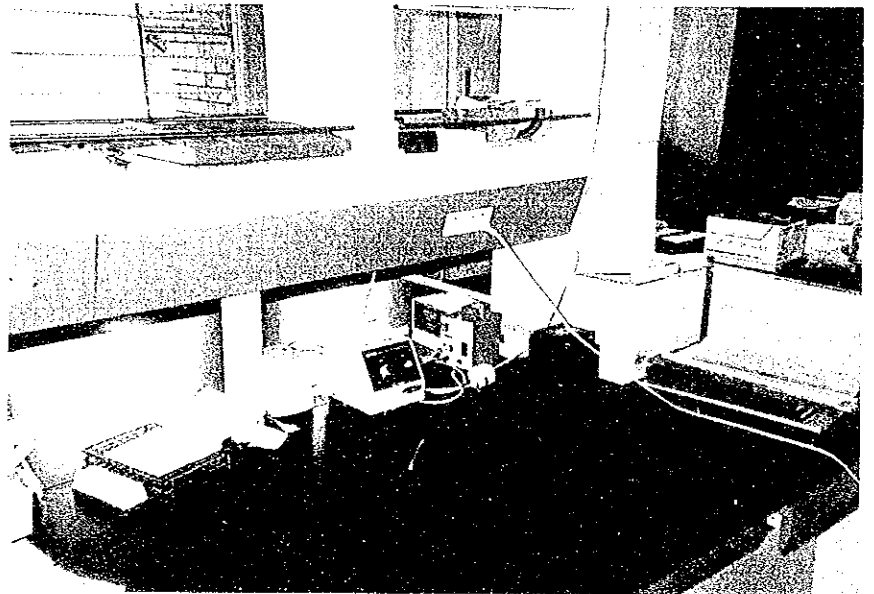
② } 薬品庫

③ } 本棚

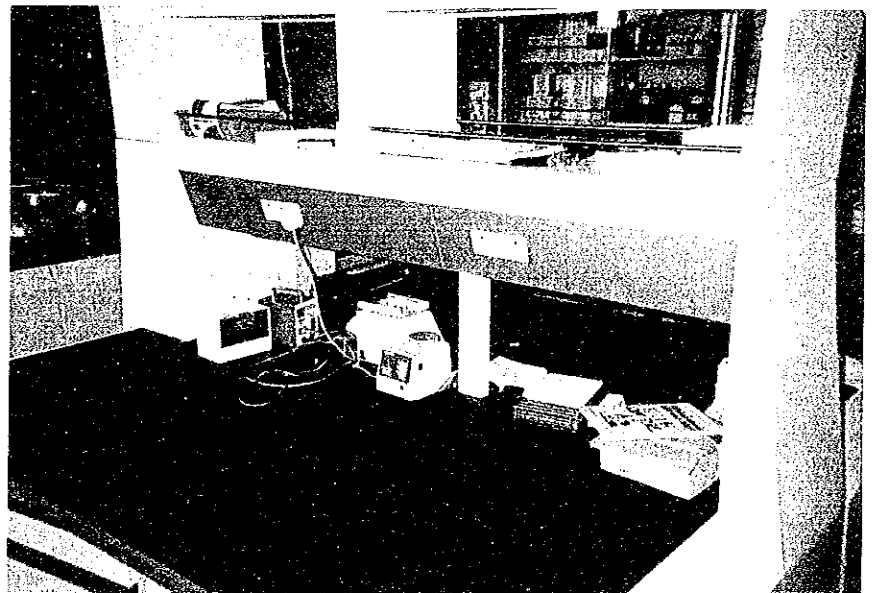
④ } 白板

②⑨ タッチミキサー

③⑩ マイクロプレートミキサー



⑩

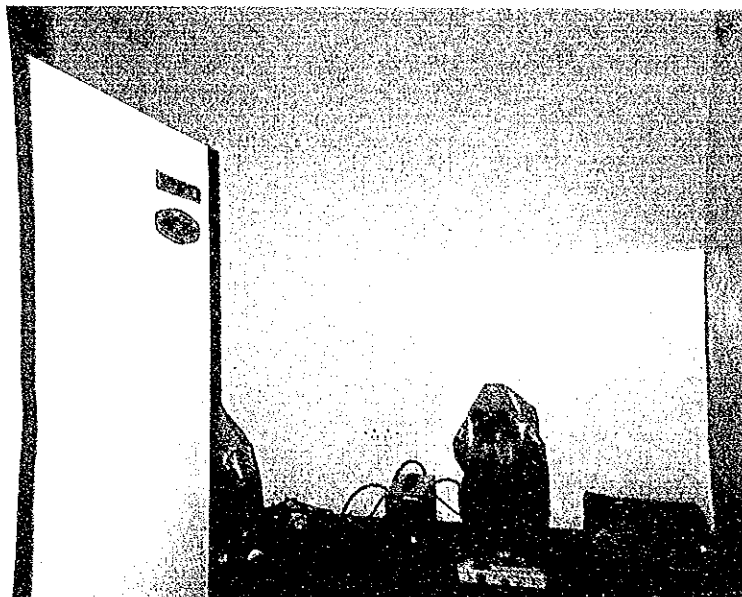


⑨

⑬

⑪

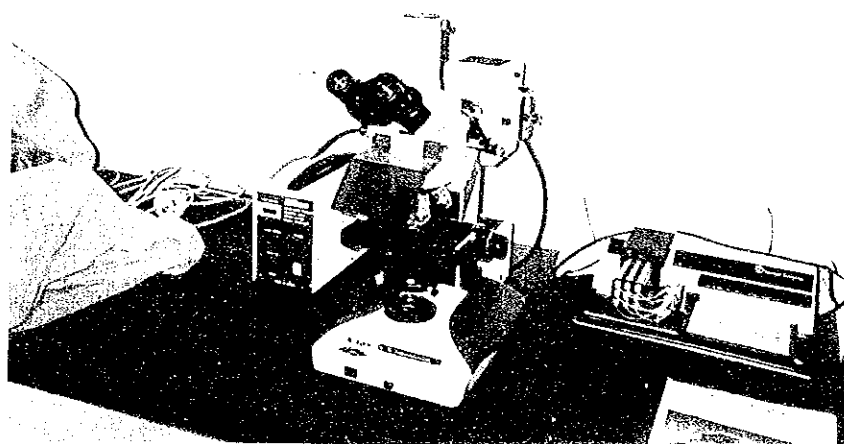
⑩



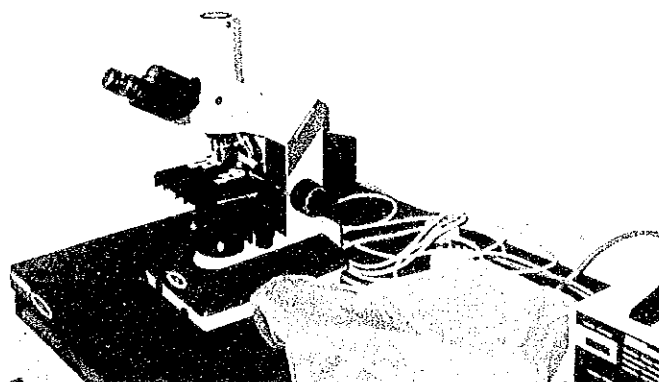
- ⑩ オートドロップ
- ⑪⑫ NIKON顕微鏡
- ⑬ フリーザー

⑪

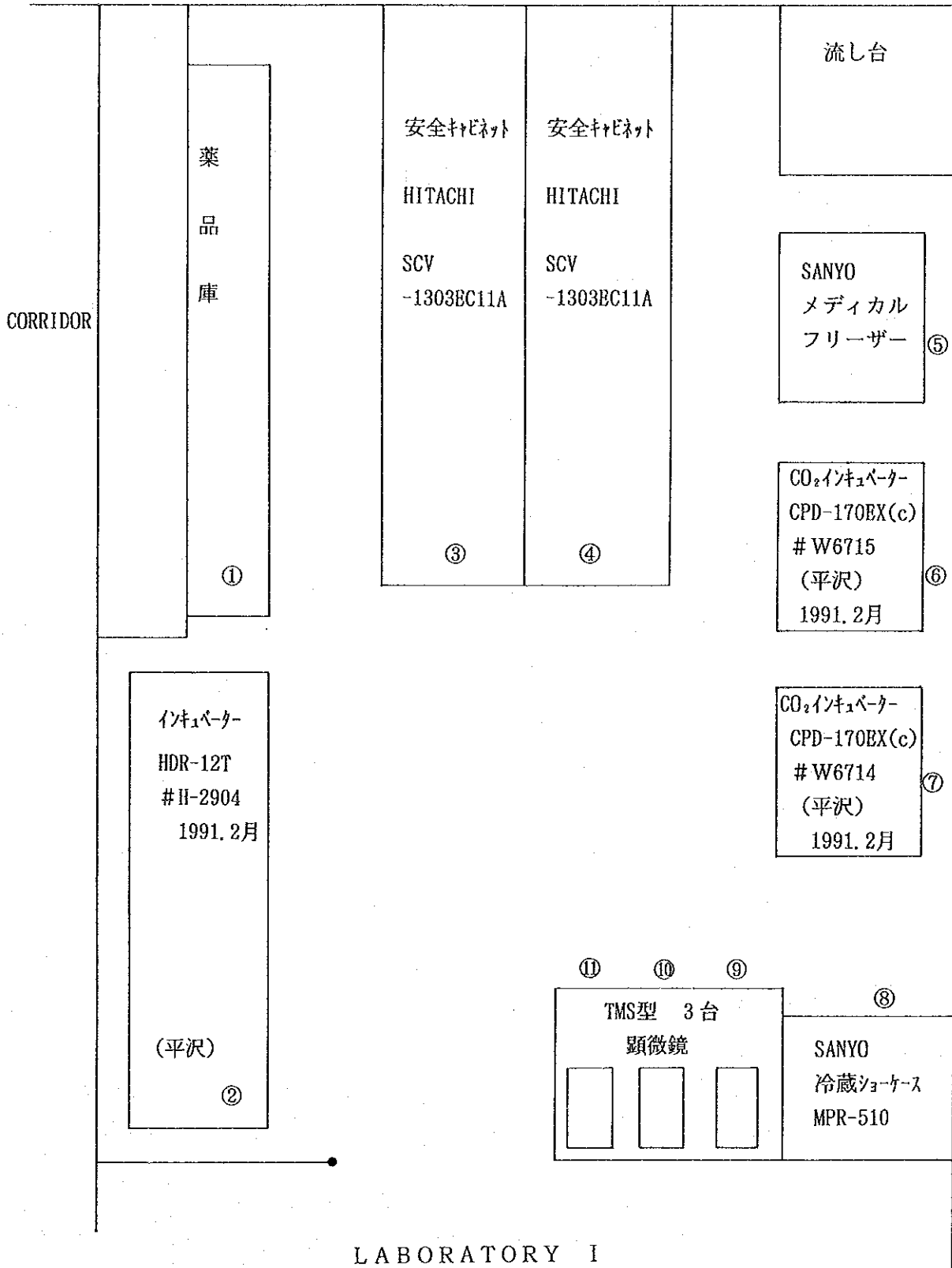
⑩



⑫



LABORATORY II (Tissue Culture Room)

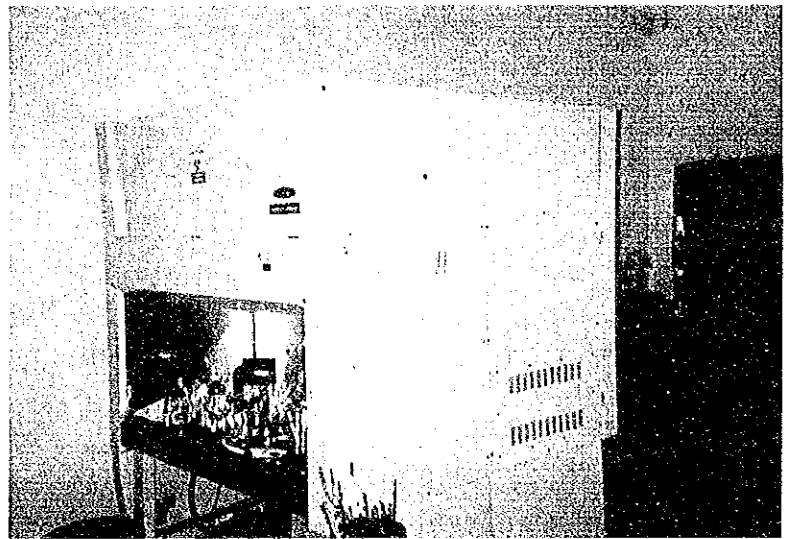


LABORATORY I

LABORATORY II

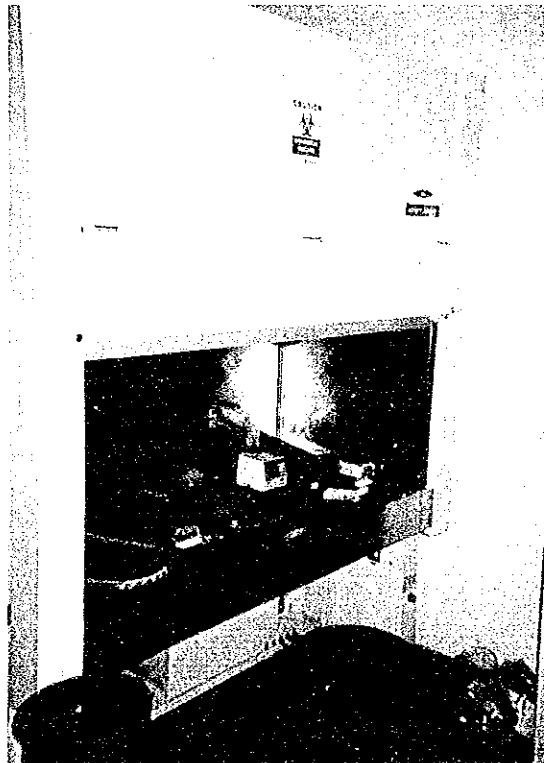
No. 1

③④



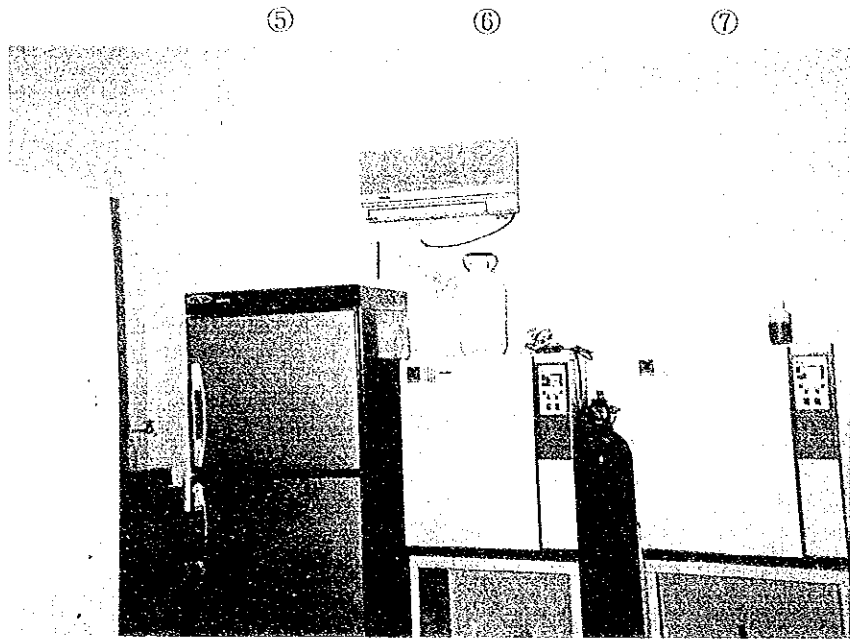
安全キャビネット

④



③④

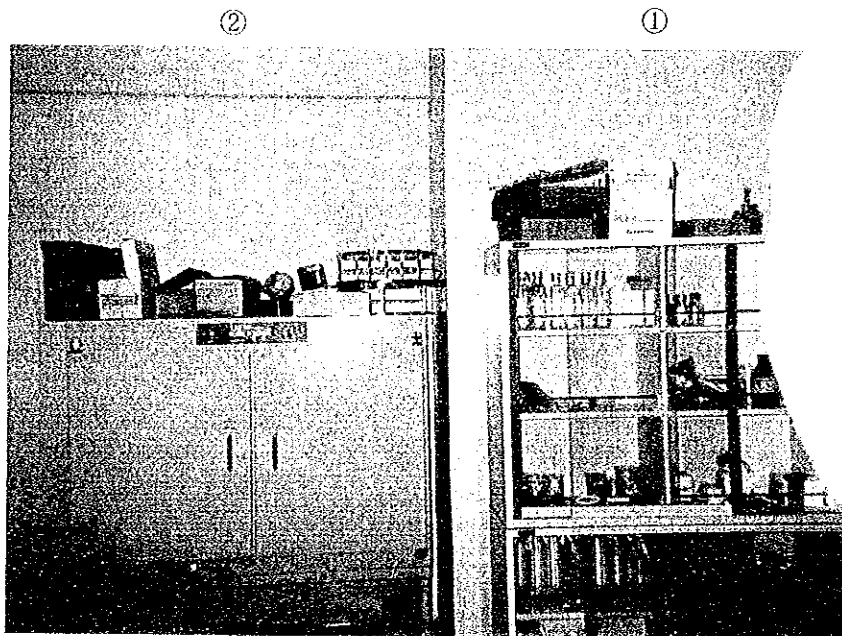




⑤
メデイカル
フリーザー

⑥
CO₂
インキュベーター

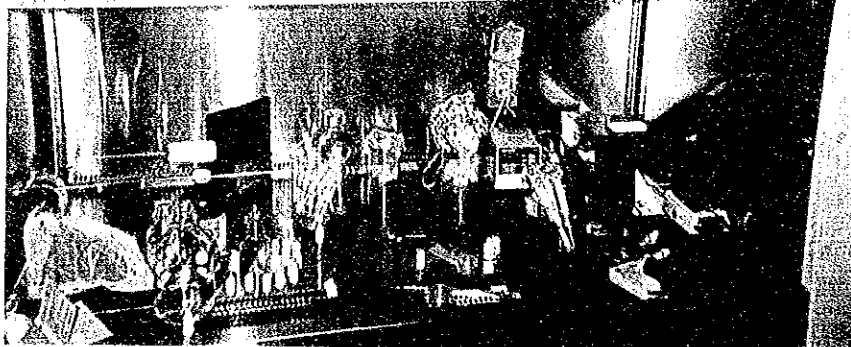
⑦
CO₂
インキュベーター



②
インキュベーター

①
薬品庫

③



安全キャビネット

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

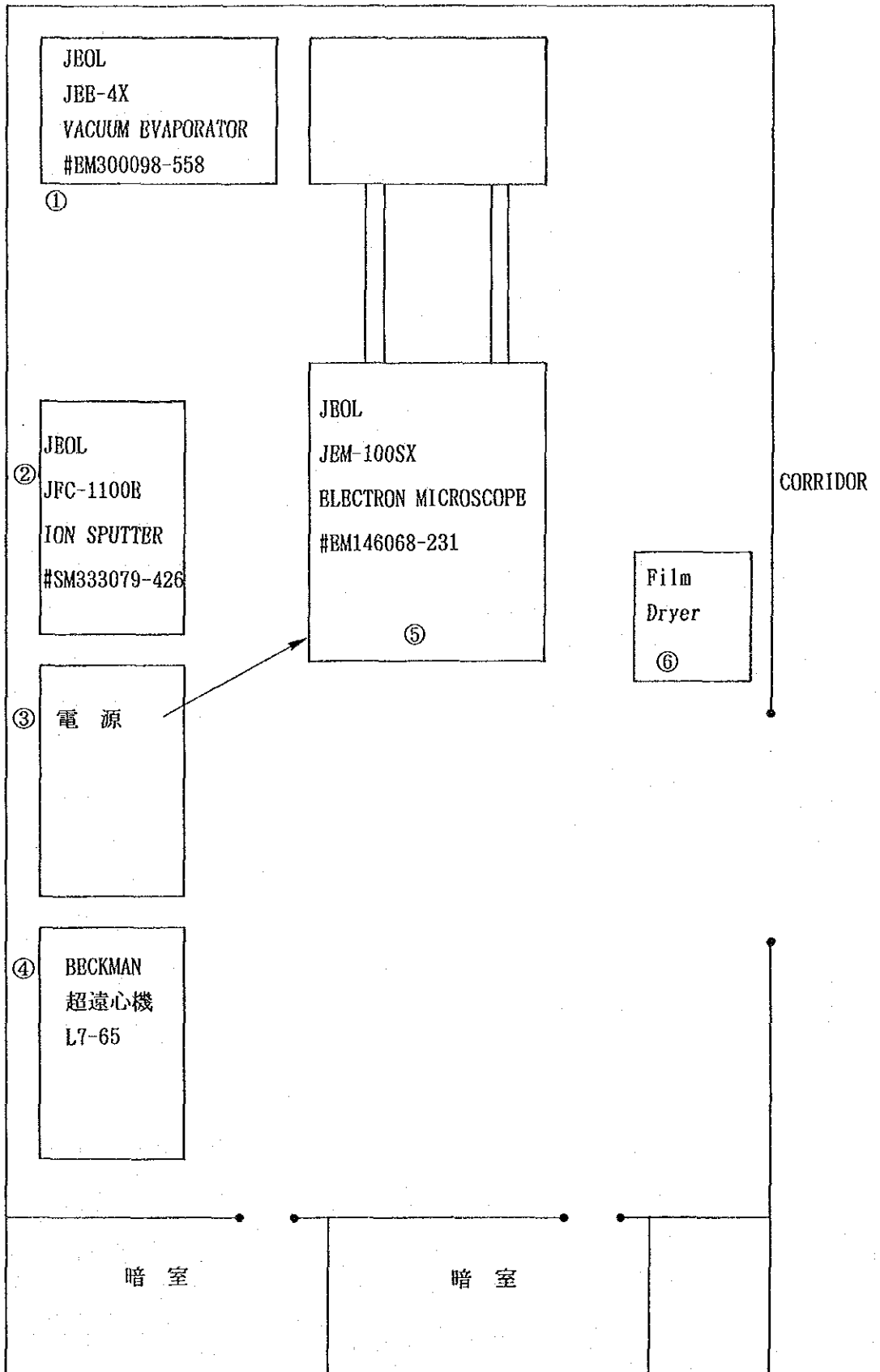


CO₂
インキュベーター

冷蔵
ショーケース

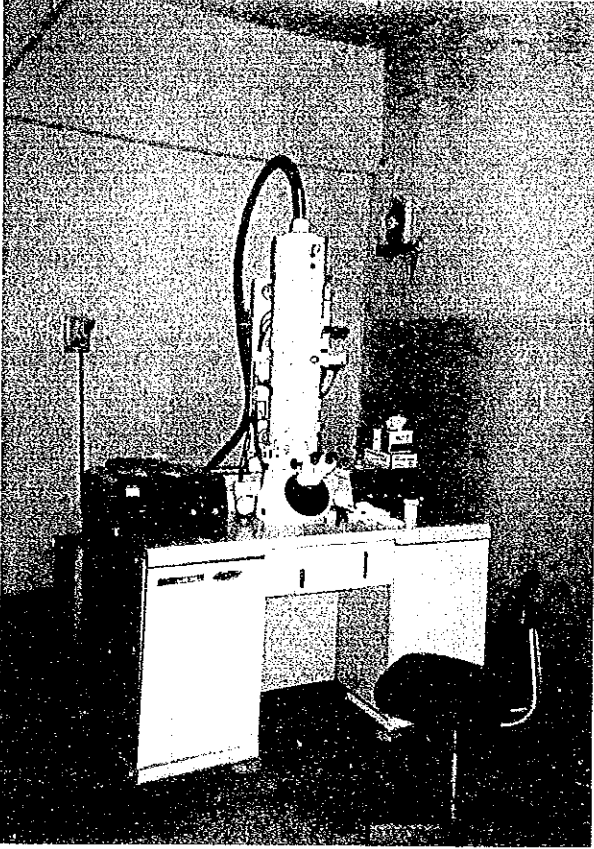
TMS型
顕微鏡

JEOL
ELECTRON
MICROSCOPE (RM)



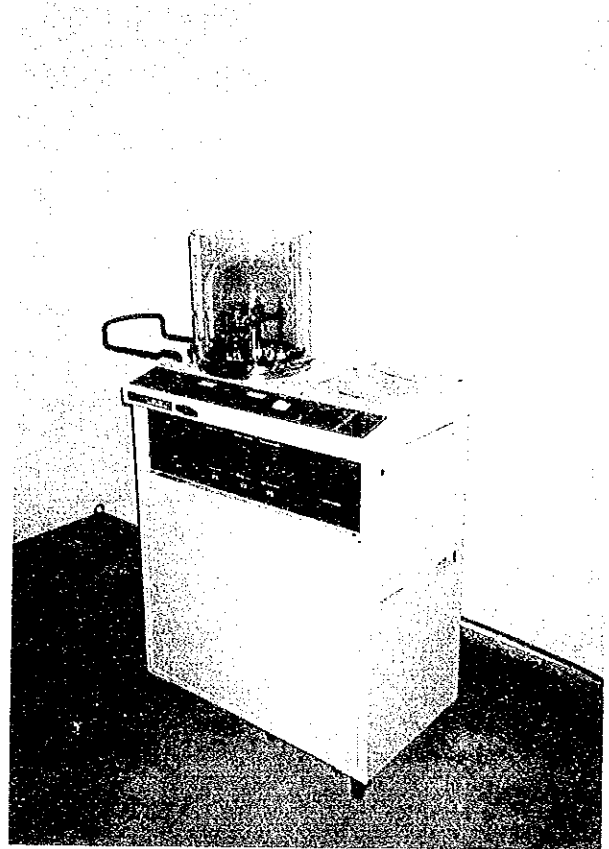
JEOL
ELECTRON
MICROSCOPE (RM) No. 1

⑤



ELECTRON MICROSCOPE

①

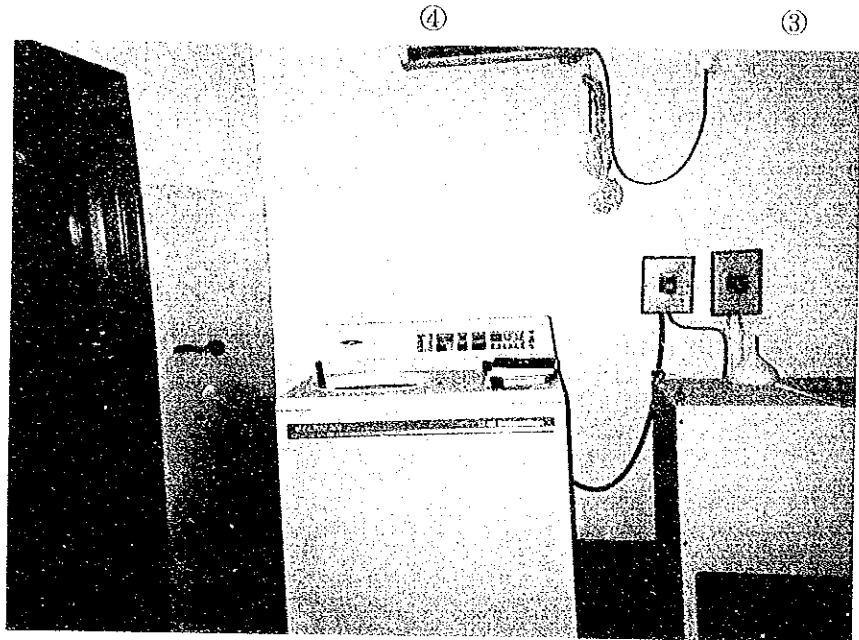


VACUUM EVAPORATOR

⑤



JEOL
ELECTRON
MICROSCOPE (RM) No. 2

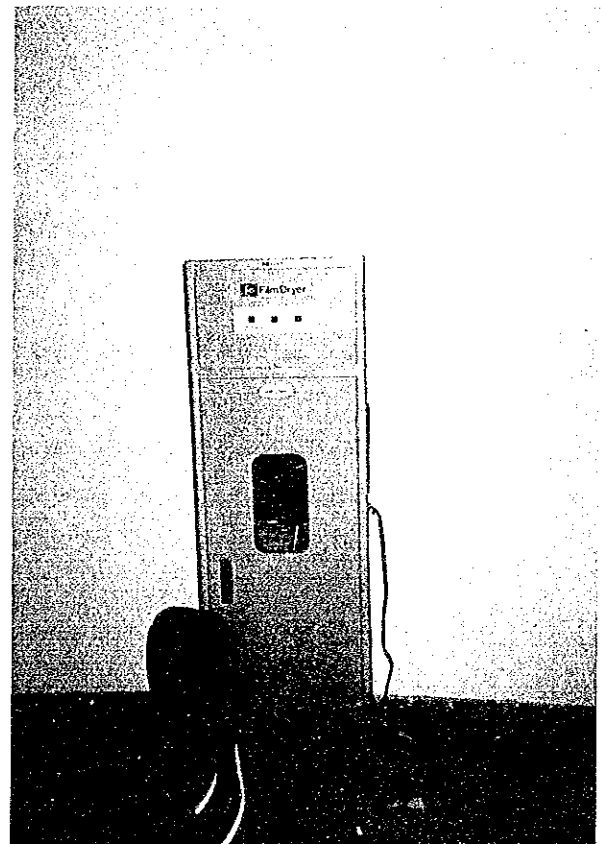
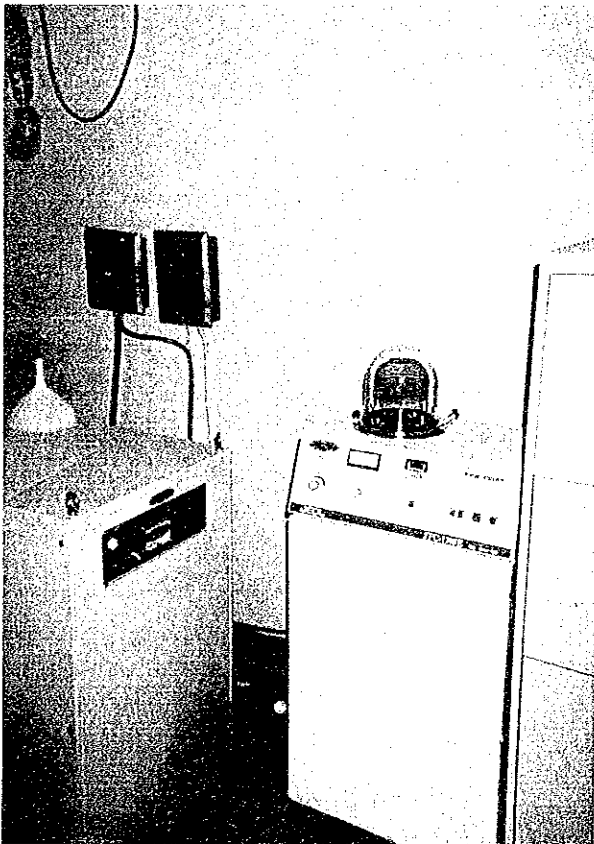


超遠心機

③ 電源

② ION SPUTTER

⑥ Film Dryer



STOCK ROOM

CORRIDOR

ULT 1786DOF (REVCO)
#NZ5426-2A
超低温槽
①

ULT 1786DOF (REVCO)
#NZ5426-5A
超低温槽
④

UF-30 (Kelvinator)
#読めず
冷凍庫
②

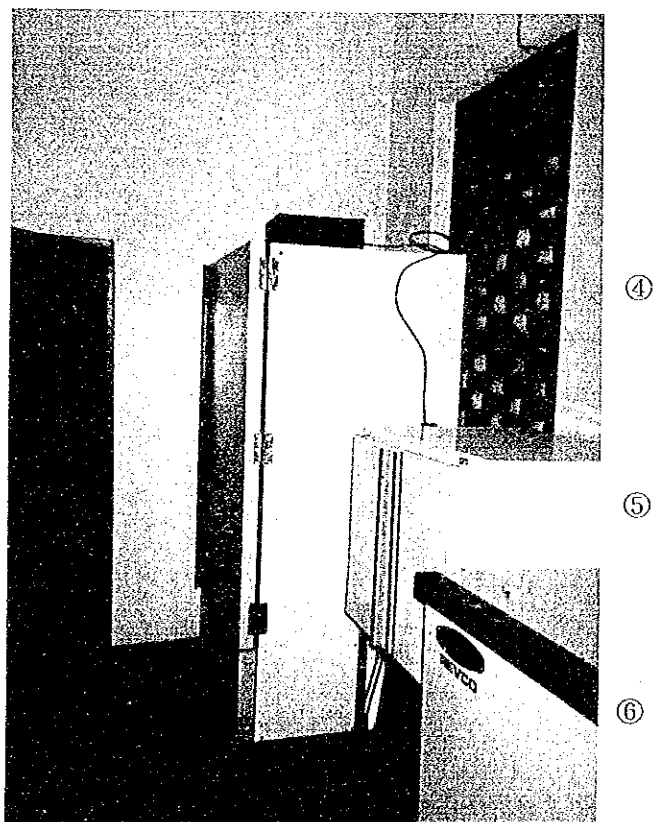
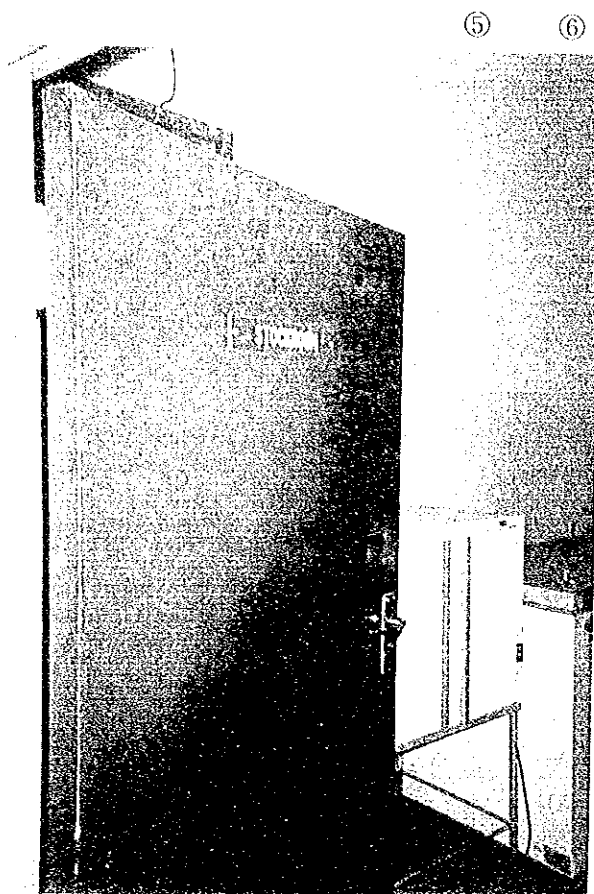
インキュベーター (池本)
10-432 B-1
#20174 搬入時
損傷あり
1990.12
⑤

UF-30 (Kelvinator)
#読めず
冷凍庫
③

ULT 1490-7-D-u-A (REVCO)
#XZ-28999-10
超低温槽
⑥

STOCK ROOM No.1

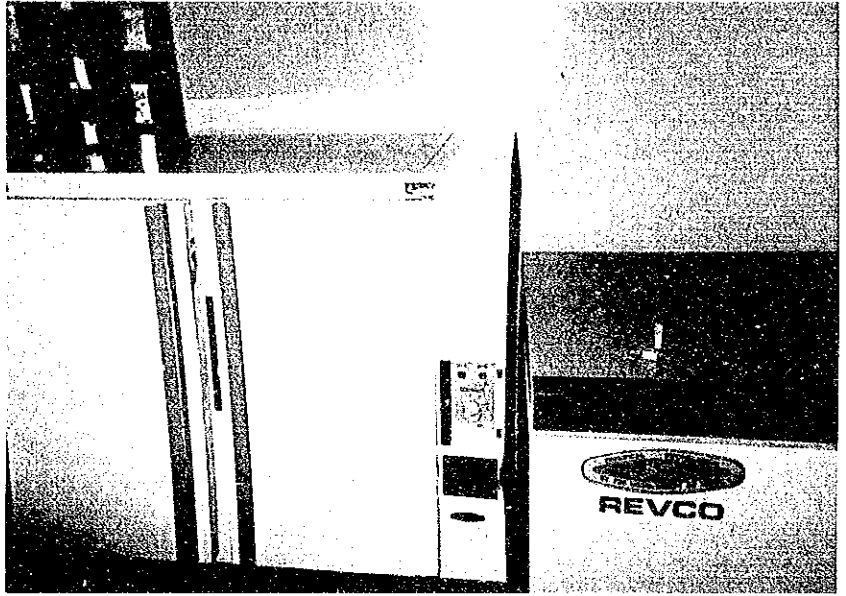
- ④ 超低温槽
- ⑤ インキュベーター
- ⑥ 超低温槽



⑤

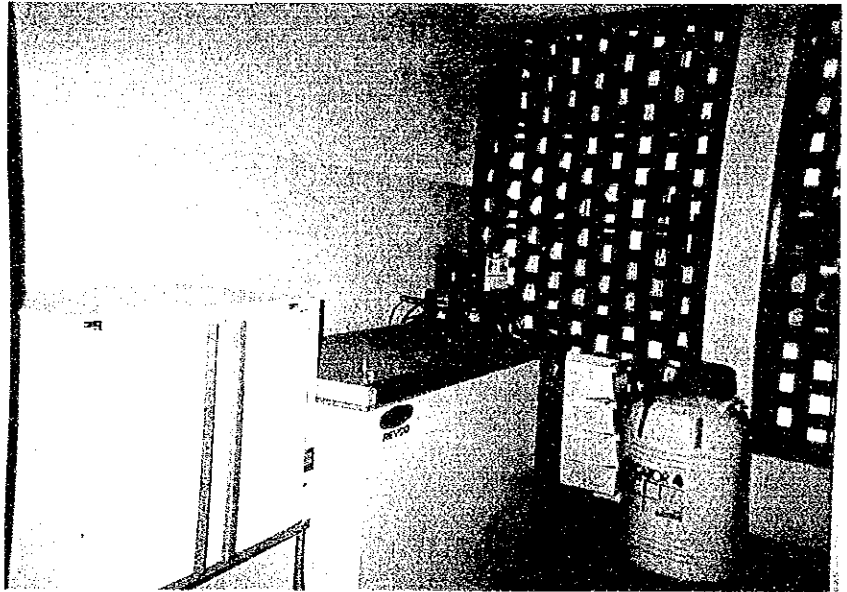
⑥

搬入時損傷



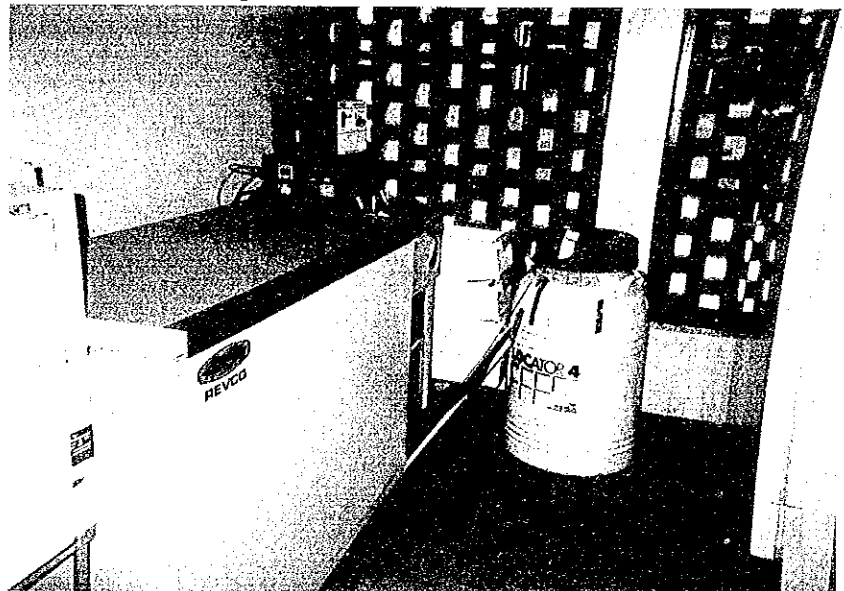
⑤

⑥



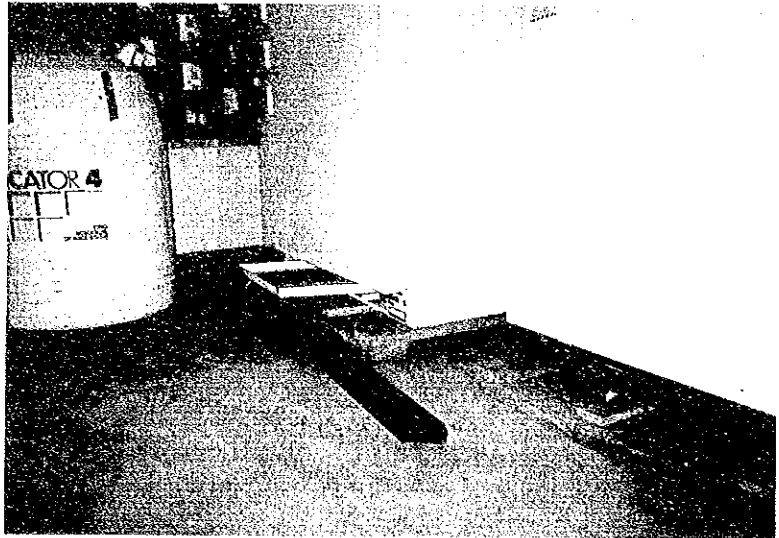
⑥

凝縮器
フィルタ部



②

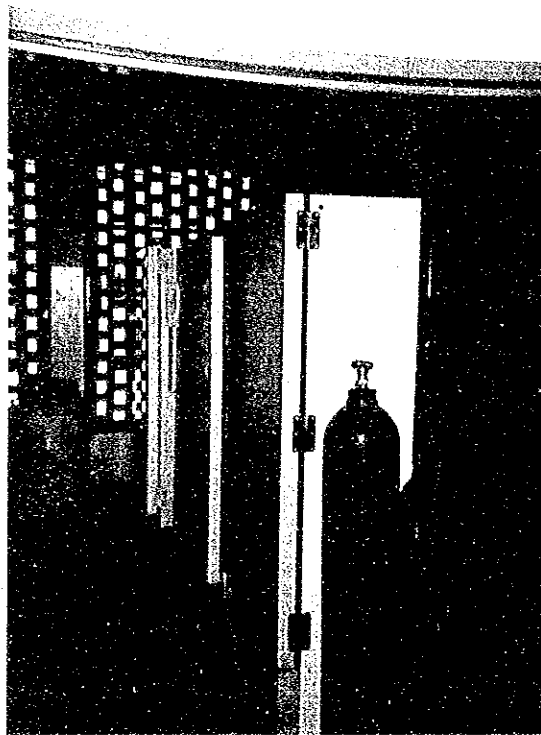
③



① 超低温槽

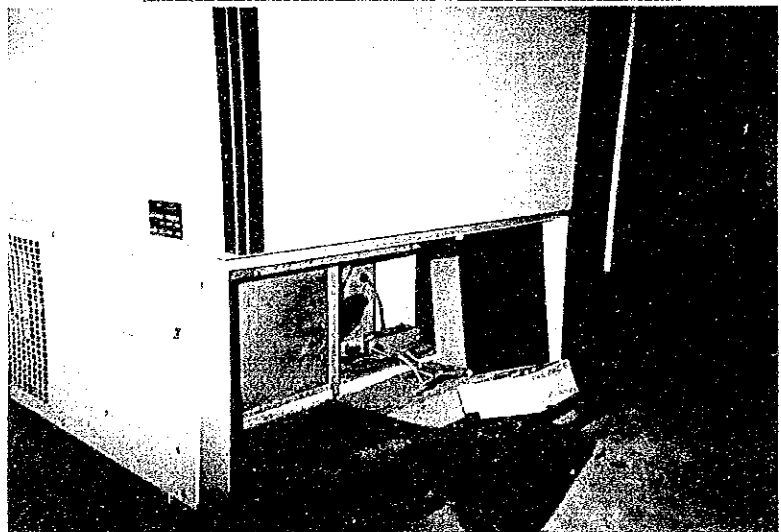
②③ フリーザー

③ ② ①

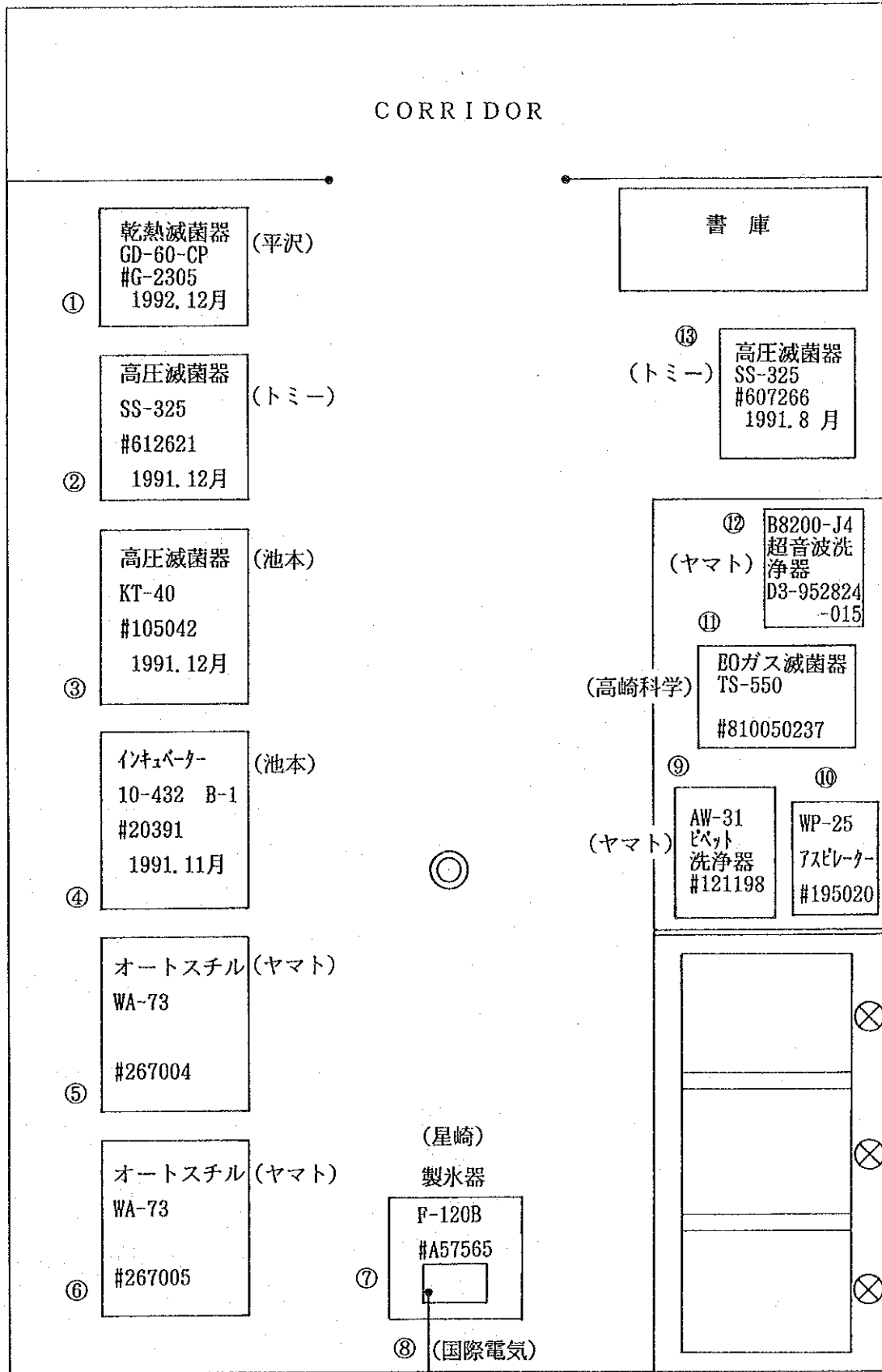


①

凝縮器
フィルター部



STERILISING RM



① 乾熱滅菌器 (平沢)
GD-60-CP
#G-2305
1992. 12月

② 高圧滅菌器 (トミー)
SS-325
#612621
1991. 12月

③ 高圧滅菌器 (池本)
KT-40
#105042
1991. 12月

④ インキペーター (池本)
10-432 B-1
#20391
1991. 11月

⑤ オートスチル (ヤマト)
WA-73
#267004

⑥ オートスチル (ヤマト)
WA-73
#267005

(星崎)
製水器
F-120B
#A57565

⑦ (国際電気)

超音波洗浄器
UA-100
#02814231

書庫

⑬ 高圧滅菌器 (トミー)
SS-325
#607266
1991. 8月

⑫ B8200-J4 (ヤマト)
超音波洗浄器
D3-952824
-015

⑪ E0ガス滅菌器 (高崎科学)
TS-550
#810050237

⑨ AW-31 (ヤマト)
ピペット
洗浄器
#121198

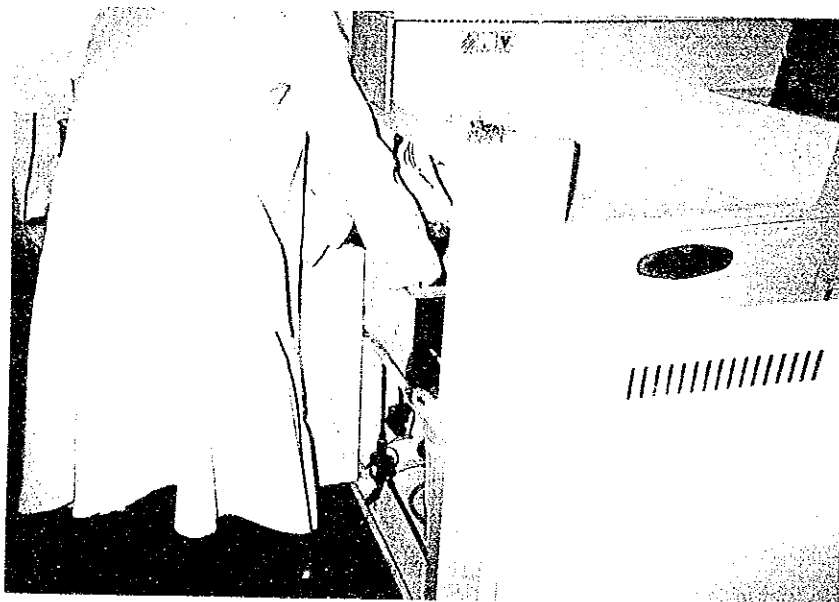
⑩ WP-25 (ヤマト)
アスピレーター
#195020



オートスチール
WA-73
缶石清掃中



⑤
缶石清掃中



⑥
缶石清掃中

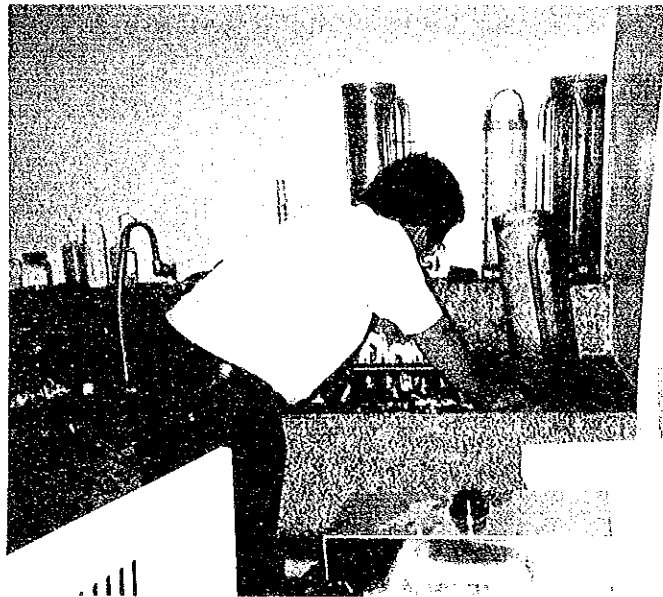


⑤

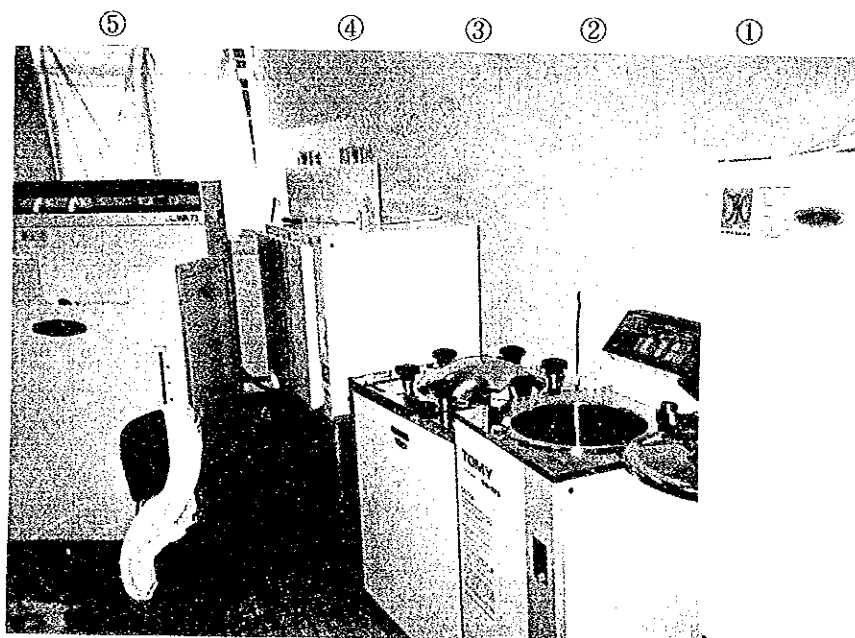
STERILISING RM

No. 2

内山専門家
街石清掃中



- ① 乾熱滅菌器
- ② 高圧滅菌器
- ③ 〃
- ④ インキュベーター
- ⑤ オートスチール
- ⑥ 〃
- ⑦ 製氷器
- ⑧ 超音波洗浄器

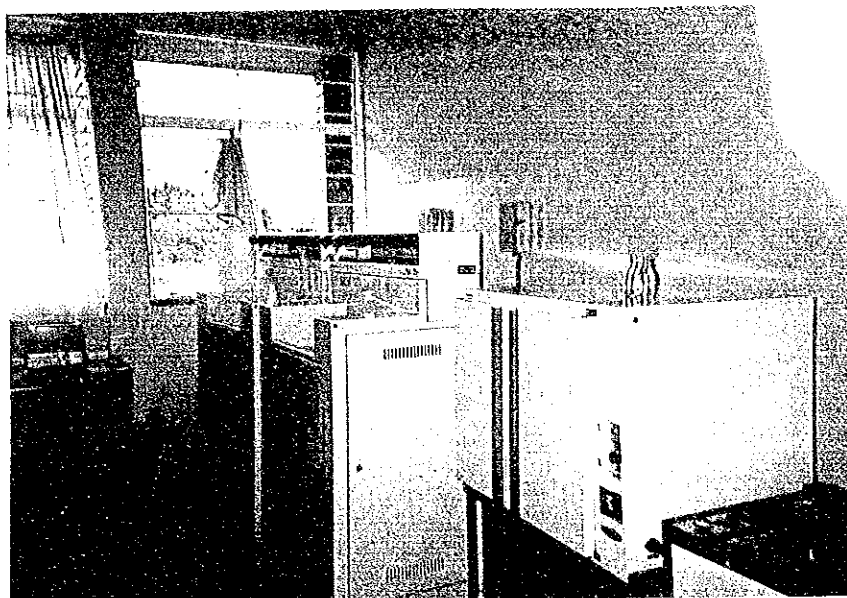


⑦⑧

⑥

⑤

④



- ① 乾熱滅菌器
- ② 高圧滅菌器
- ③ 〃
- ④ インキュベーター
- ⑤ オートスチール
- ⑥ 〃
- ⑦ 製氷器
- ⑧ 超音波洗浄器

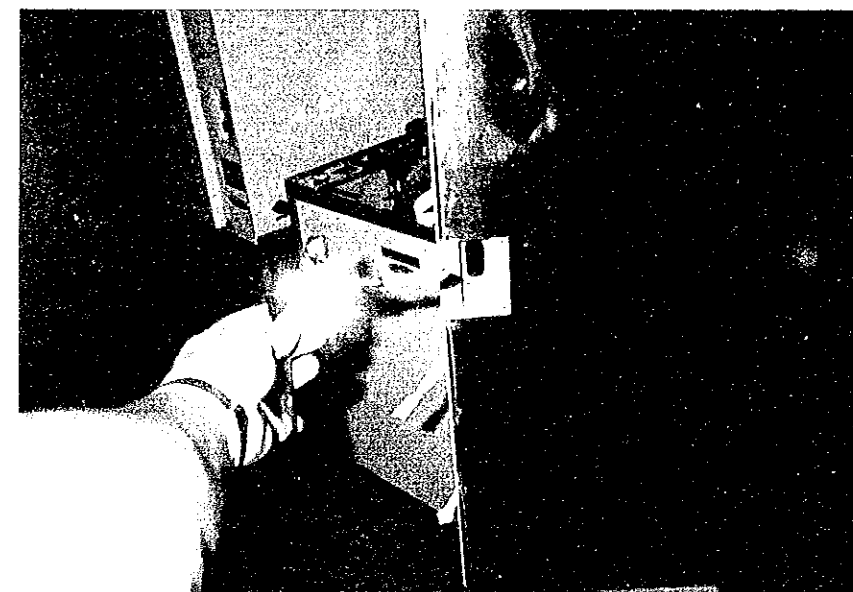
⑤

④

③

②

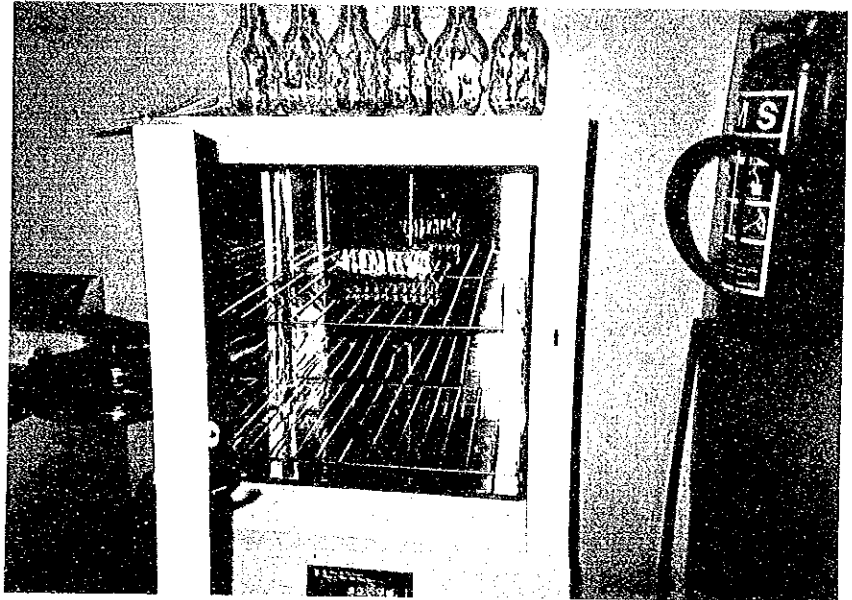
①



①
トビラ
フック
分解

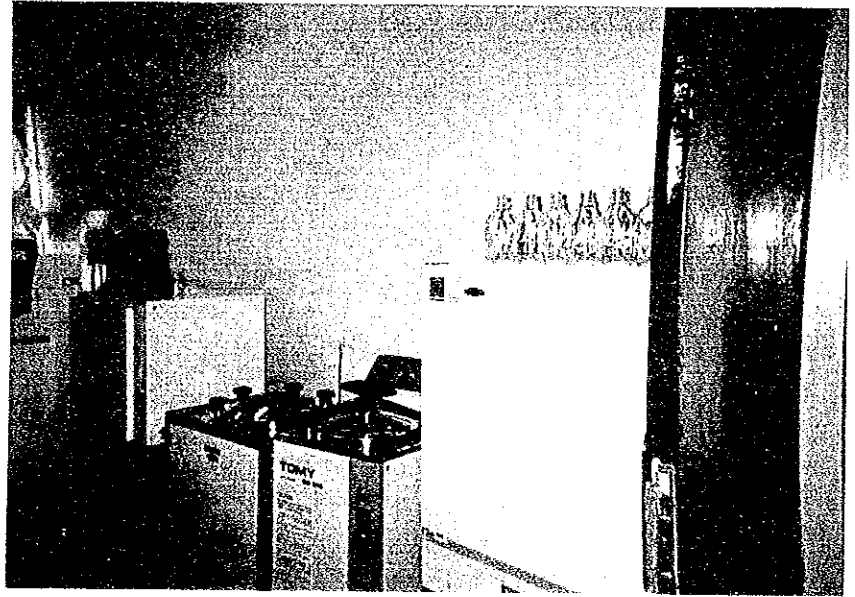
①

トビラ
フック
曲がっている



- ① 乾熱滅菌器
- ②③ 高圧滅菌器
- ④ インキュベーター
- ⑤ オートスチール

⑤ ④ ③ ② ①



- ⑨ ビペット洗浄器
- ⑩ EOガス滅菌器

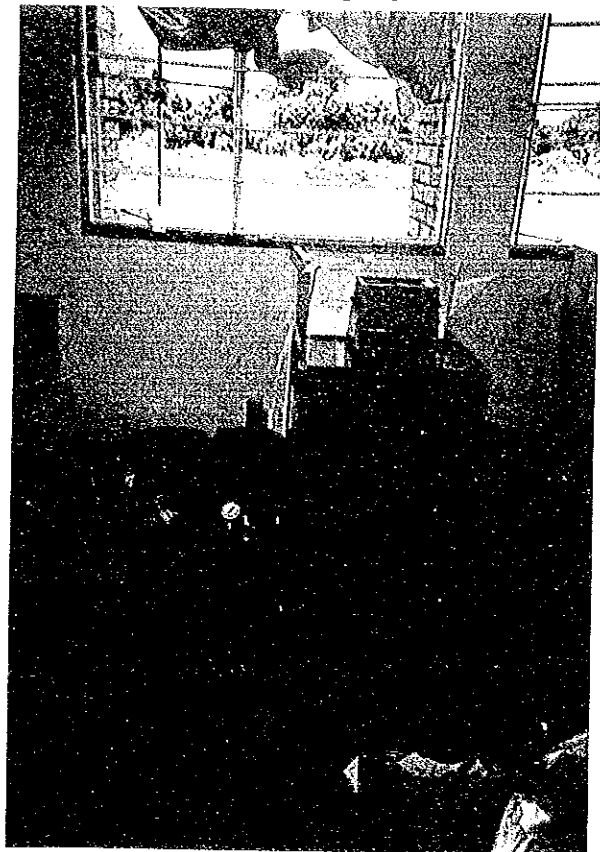
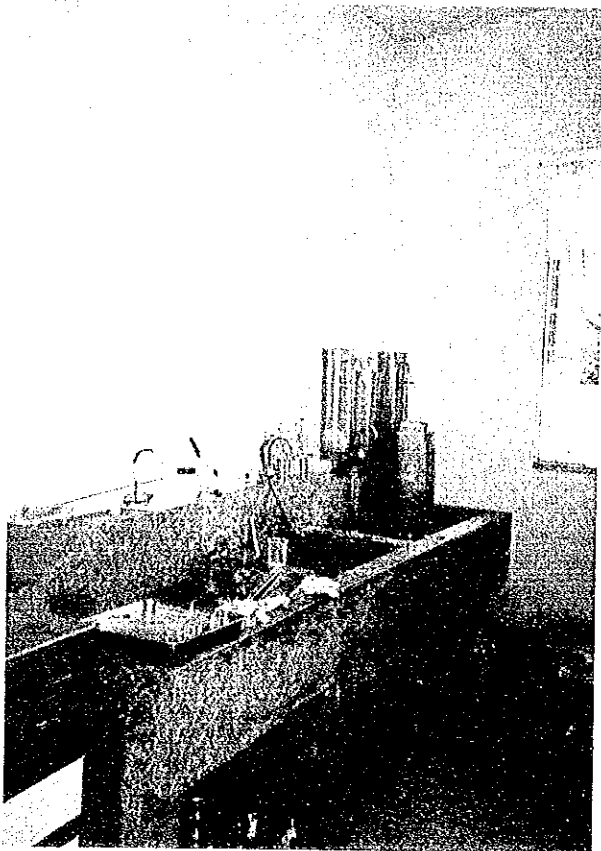
⑪ ⑨



- ⑦ 製水器
- ⑧ 超音波洗浄器

STERILISING RM No. 5

⑦ ⑧

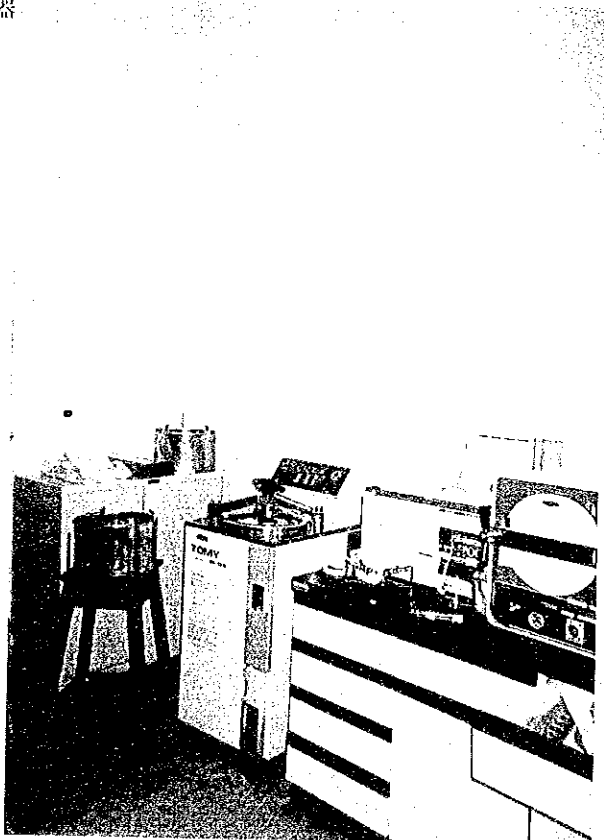


- ⑬ 高圧滅菌器
- ⑫ 超音波洗浄器
- ⑪ E0ガス滅菌器
- ⑩ アスピレーター
- ⑨ ピペット
洗浄器

⑬

⑫

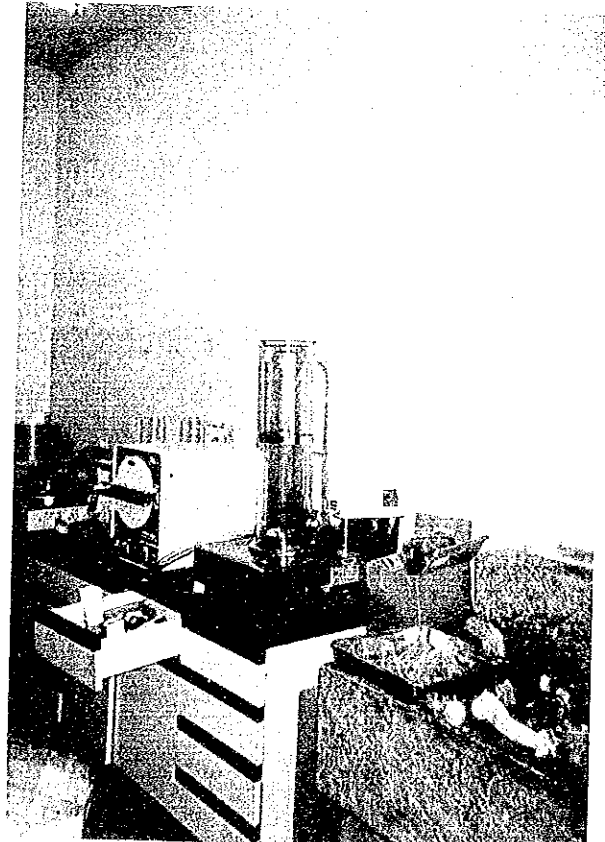
⑪



⑪

⑨

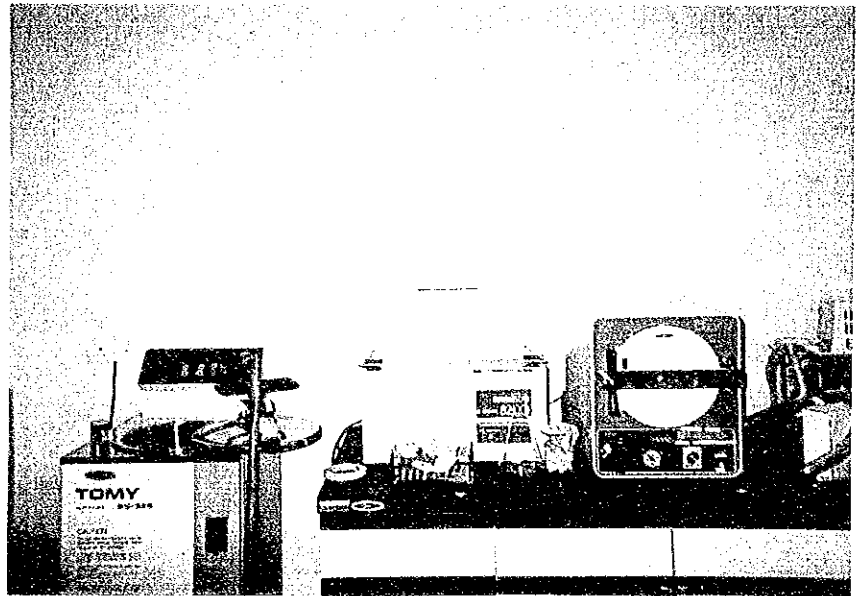
⑩



⑬

⑫

⑪



⑨ ビペエツト洗浄器

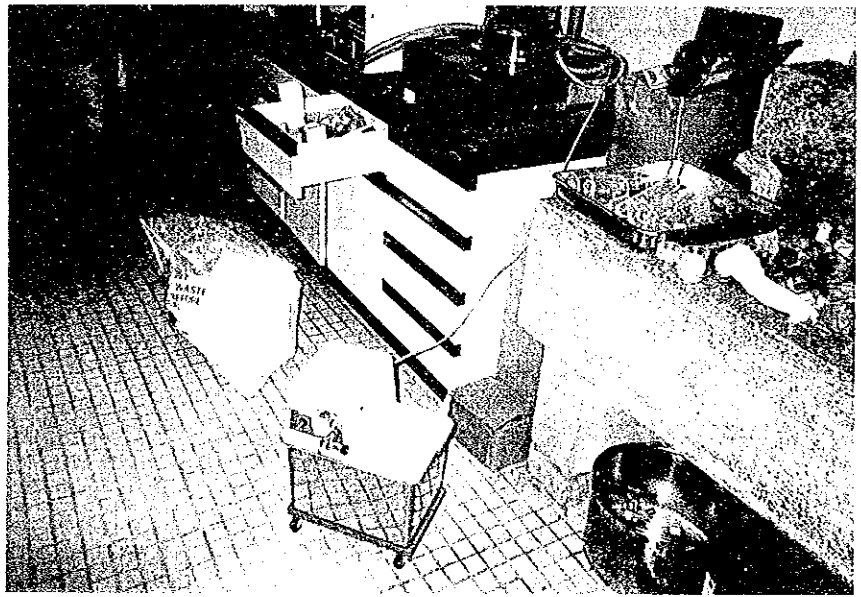
⑩ アスピレーター

⑪ B0ガス滅菌器

⑫ 超音波洗浄器

⑬ 高圧滅菌器

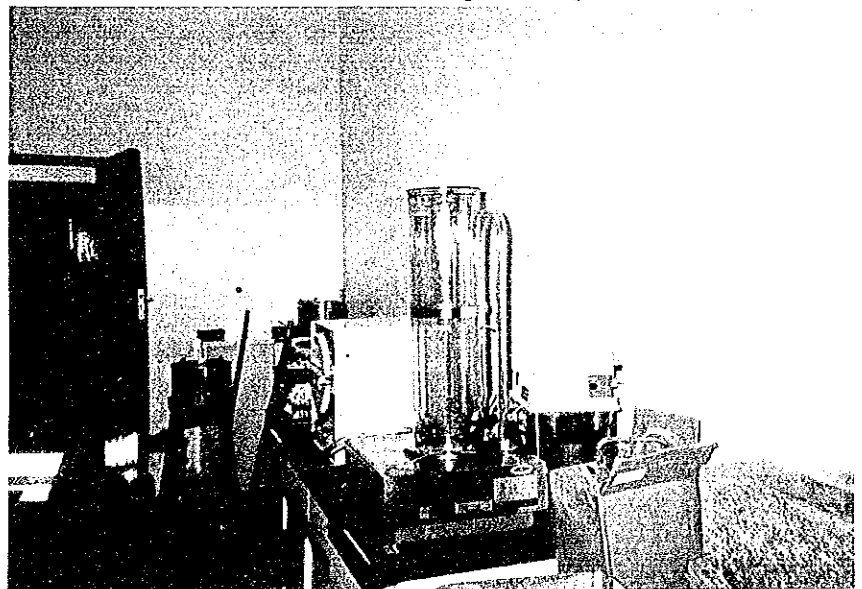
⑩



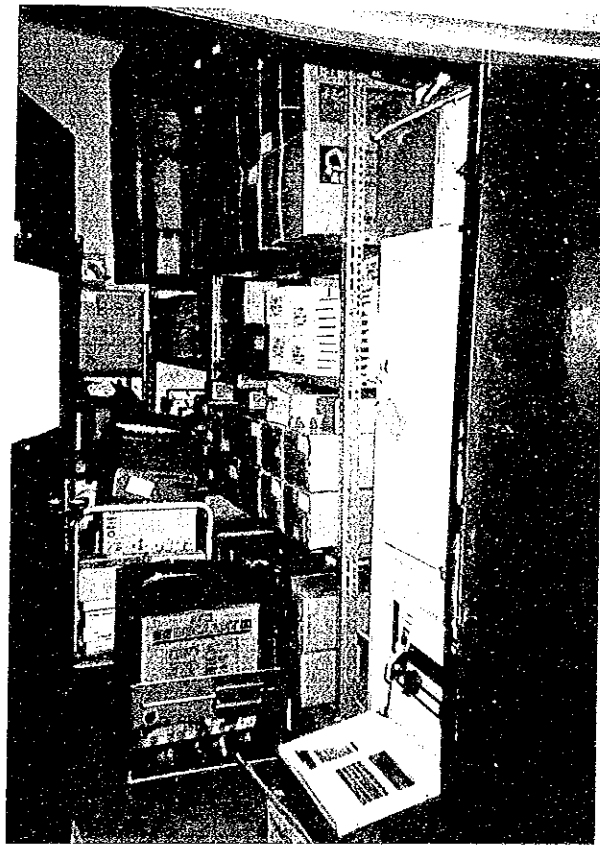
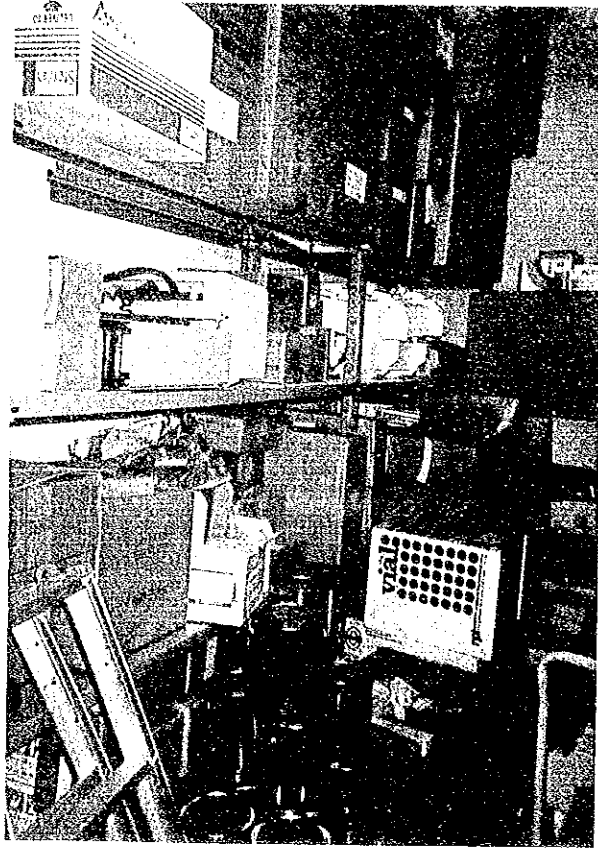
⑪

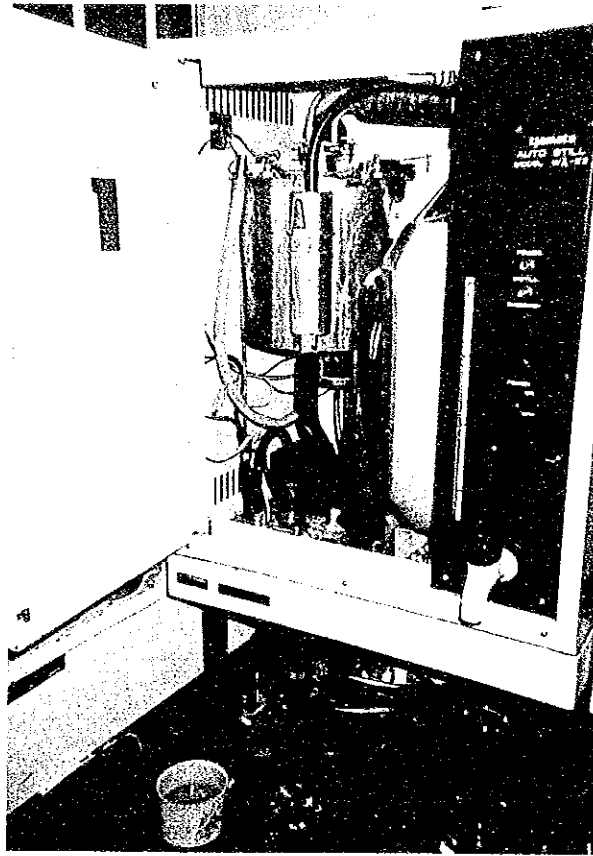
⑨

⑩

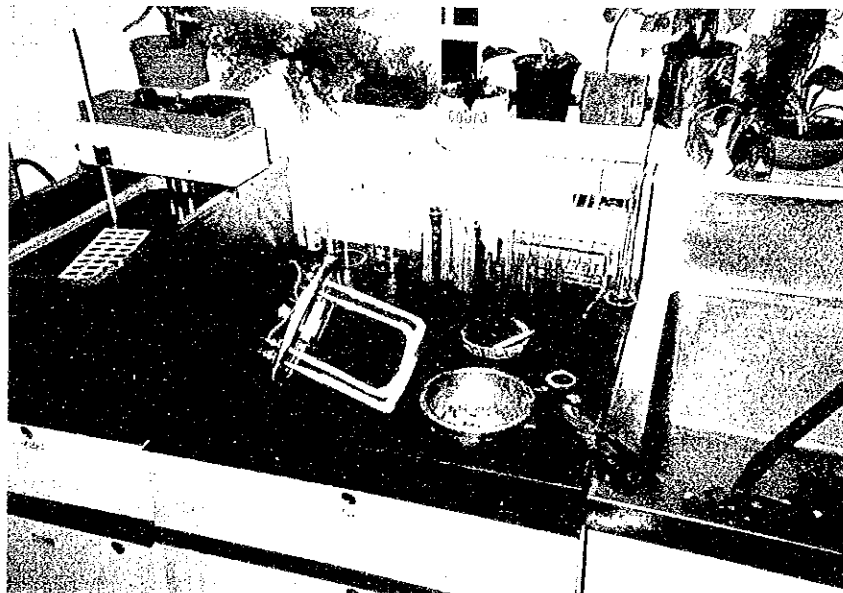


STORE ROOM





ヤマト
オートスチール
WA-22
#167008

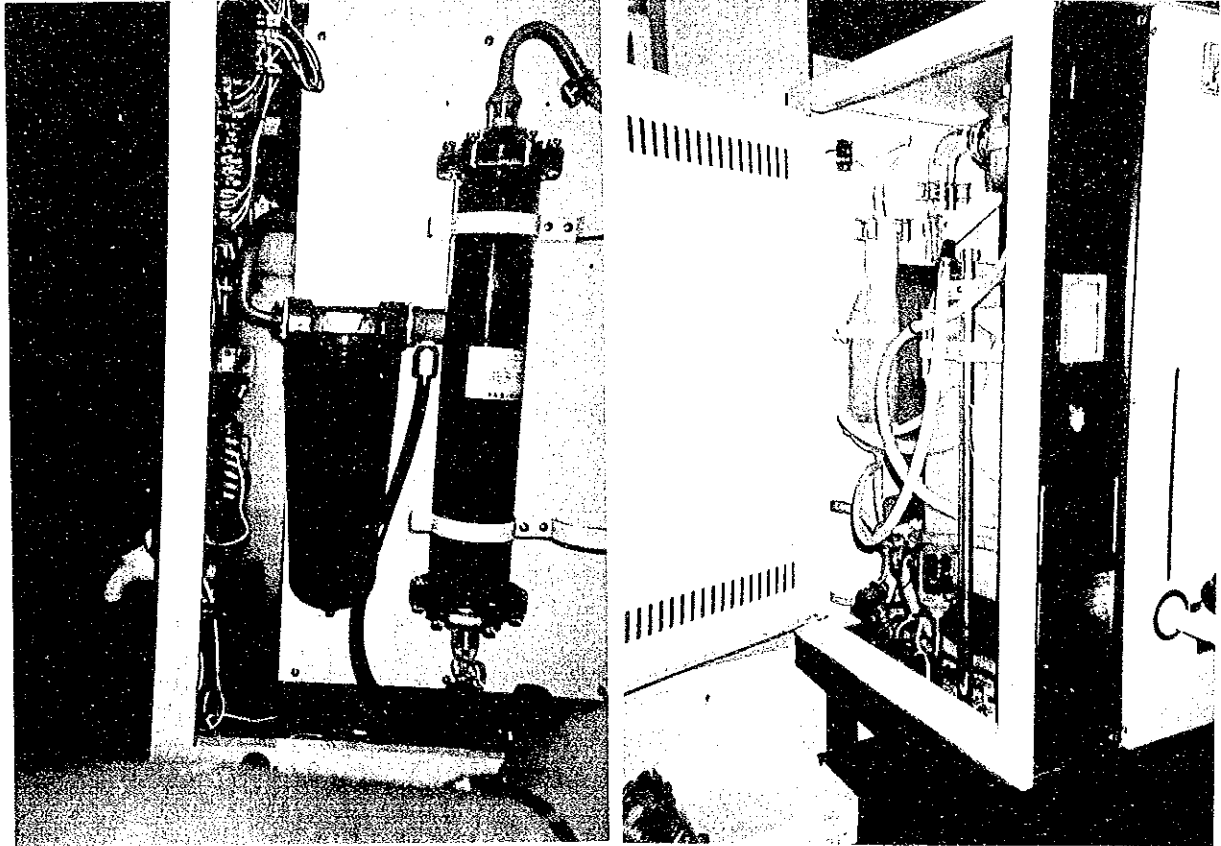


ヒーター缶石清掃中

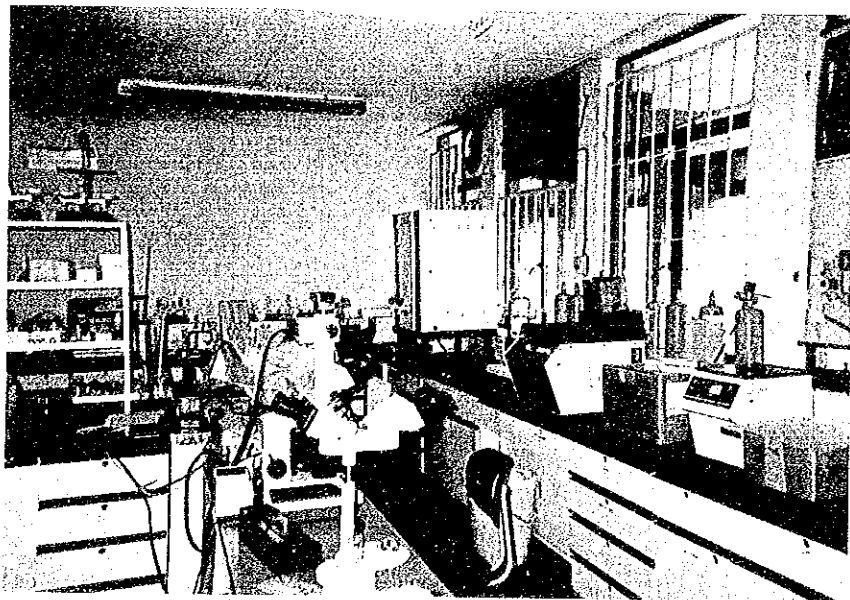
その他 D BLOCK No. 2

ヤマト
オートスチール

WA-32
#171014



WA-32



ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991. 3月
機 材 名	(和文) 蒸留水製造装置 (英文) Auto-Still		
メーカ名	ヤマト科学(株)	製品番号	WA-73(#267004) 2台 (#267005)
製造年月	1990年 6月	通常耐用年数	1998 年頃まで
設置場所	Sterilising Room		
使用環境 空調、給配水等	専用配管、空調なし(良)		
機材の状態	(良)		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	缶石清掃、フィルター交換等、メンテナンス実演をビデオに収録。 蒸留水のみで使用で #267005の方の機器はイオン交換樹脂及びメンブレンフィルターを抜いてありました(押谷先生へ報告済、#267004 にはイオン交換樹脂筒内アダプターが逆にセットされていました)		
保守管理指導の 内 容			
今後の問題点、 耐用見込み、等	缶石清掃の頻度が多すぎる為、前段に前処理装置を検討、報告する。		

立 会 い 者	内山専門家、押谷先生、飯田調整員、ブック氏(他)
---------	--------------------------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991. 3月
機 材 名	(和文) 乾熱滅菌器 (英文) Digital hot air strilizer		
メーカ名	HIRASAWA	製品番号	GD-60-CP #G-2305 1台
製造年月	1991年 2月	通常耐用年数	1998 年頃まで
設置場所	Sterilising Room		
使用環境 空調、給配水等	空調なし (良)		
機材の状態	ドアロックできず、他温調良好		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	ドアロック方式が他の機器と違う為、フック部が受けにうまく入らないと変形してしまう。分解、フック部手直しにて完了。		
保守管理指導の 内 容	ドア開閉は、ゆっくり行う。		
今後の問題点、 耐用見込み、等	フック部1度変形していますので、再度今回の様になった場合は、強度的に問題が生じますので交換必要。ヒータ温調器のみの箱物ですの でドア部のみで、他には問題はないと考えます。		

立 会 い 者	内山専門家、押谷先生
---------	------------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991, 3月
機 材 名	(和文) 高圧滅菌器 (英文) Autoclave		
メーカー名	TOMY	製品番号	SS-325 2台 # 612621、# 607266
製造年月	1991 12 年 月 1991 8	通常耐用年数	1998 年頃まで
設置場所	Sterilising Room		
使用環境 空調、給配水等	空調なし (良)		
機材の状態	(良)		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	蒸気もれチェック、温調チェック、良好 バルブ動作良好		
保守管理指導の 内 容	水質に問題がある為、原水は使用しない。 ただし本機は水位検出が、水の電導度を使用の為、蒸留水をしばらく溜 めてから使用して下さい。サンプルをこぼした場合は缶内清掃下さい。		
今後の問題点、 耐用見込み、等	"		

立 会 い 者	内山専門家
---------	-------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991. 3月
機 材 名	(和文) 高圧滅菌器 (英文) Autoclave		
メーカ名	池本理化	製品番号	KT-40 #105042
製造年月	1991年12月	通常耐用年数	1998年頃まで
設置場所	Sterilising Room		
使用環境 空調、給配水等	空調なし (良)		
機材の状態	(良)		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	蒸気もれチェック、温調チェック、各バルブ動作良好		
保守管理指導の 内 容	原水は使用せず、蒸留水を使用下さい。 (本機は水位(空焚き防止)は電導度方式ではありません) サンプルをこぼした場合は缶内清掃下さい。		
今後の問題点、 耐用見込み、等	"		

立 会 い 者	内山専門家
---------	-------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991. 7月
機材名	(和文) 超音波洗浄器 (英文) Ultrasonic Benchtop		
メーカー名	ヤマト科学(株)	製品番号	B8200-J4 #D35-952824-015
製造年月	年 月	通常耐用年数	1998 年頃まで
設置場所	Sterilising Room		
使用環境 空調、給配水等	空調なし (良)		
機材の状態	(良)		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	発振強度 (アルミフォイル穴あけ)、良好 タイマー動作他異状なし		
保守管理指導の 内 容	水槽タンク内基準レベルまで必ず給水してから使用の事。 (水をこぼさない)		
今後の問題点、 耐用見込み、等	部品、シートキーは予備を用意下さい (サービスパーツ打ち合せ時、 内山専門家へ伝言)		

立 会 い 者	内山専門家
---------	-------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1990. 3月
機材名	(和文) 超低温槽 (英文) Freezer		
メーカー名	REVCO	製品番号	ULT1786DOF:ULT1490-7-D-U-A #NZ5426-5A:#XZ-28999-10 #NZ5426-2A: 3台
製造年月	年 月	通常耐用年数	1998 年頃まで
設置場所	Stock Room		
使用環境 空調、給配水等	レンガ抜き部屋の為、砂ボコリ大		
機材の状態	凝縮器用フィルター目詰り大		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	凝縮器清掃 温調良好		
保守管理指導の 内容	レンガ抜きは本年9月に変更で仕切るそうなので(空調入る)、それ 以降は6ヶ月に1度の清掃が良いと考えます。		
今後の問題点、 耐用見込み、等	空調を入れるとのお話でしたが、もしも変更で空調入らない時は、機 器よりの放熱で室温が上がり、機器故障の原因となります。凝縮器の 清掃頻度を多くすればレンガ抜きのままの方が空調なしの仕切り部屋 よりベターです。		

立会者	内山専門家
-----	-------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991. 7月
機 材 名	(和文) 安全キャビネット (英文) Safety Cabinet		
メーカ名	日立製作所	製品番号	SCV-1303EC11A 2台
製造年月	年 月	通常耐用年数	1998年頃まで
設置場所	Laboratory II (Tissue Culture Room)		
使用環境 空調、給配水等	空調あり、ダクトなし		
機材の状態	(良)		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	ファン異音等なし 良好 蛍光灯、殺菌灯 良 各スイッチ 動作 良		
保守管理指導の 内 容	フィルター等交換は、内部シールを切る必要があります。以前内山 専門家にて内部を見たそうですが、滅菌されないで内部開いたそう です。危険ですので、滅菌してから行って下さる様、説明(殺菌法も) →マニュアルにも記載されています。		
今後の問題点、 耐用見込み、等	フィルター交換時は、滅菌をしてから行う。あとの消耗部品は外部か ら交換出来ます。		

立 会 い 者	内山専門家
---------	-------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991. 3月
機 材 名	(和文) 炭酸ガス培養器 (英文) CO ₂ Incubator		
メーカ名	ヤマト科学(株)	製品番号	CPD-170EX (C) #W6714 1台
製造年月	1991年 2月	通常耐用年数	1998 年頃まで
設置場所	Laboratory II (Tissue Culture Room)		
使用環境 空調、給配水等	空調あり (良)		
機材の状態	(良)		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	(REVCO 用にCO ₂ ポンベ1ヶ使用の為、#W6715は温調チェックのみ) 温調、CO ₂ コントロール良好		
保守管理指導の 内 容	内部をクリーンに保つ。一度汚染させてしまうと、滅菌が大変です。 大型滅菌器がないので、すべてをアルコールで処理する必要があります。		
今後の問題点、 耐用見込み、等	"		

立 会 い 者	内山専門家
---------	-------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991. 7月
機 材 名	(和文) 冷蔵ショーケース (英文) Pharmaceutical Refrigerator		
メーカ名	SANYO	製品番号	MPR-510 5台 製番読めず
製造年月	年 月	通常耐用年数	1998年頃まで
設置場所	Laboratory I (4台)・II (1台)		
使用環境 空調、給配水等	(良) 空調なし I×4台 (IIの1台は空調あり)		
機材の状態	(良)		
保守点検の内容及び 点検後の状態	凝縮器用フィルター清掃 (Stock Roomの様な詰りなし)		
保守管理指導の 内 容	本機は、保守はフィルター清掃のみです。 時間のあいた時、庫内清掃下さい。		
今後の問題点、 耐用見込み、等	”		

立 会 い 者	内山専門家
---------	-------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1991. 7月
機 材 名	(和文) 遠心機 (英文) Centrifuge		
メーカ名	KUBOTA	製品番号	8100 #Q30177 5100 #Q10561 5100 #R41043
製造年月	年 月	通常耐用年数	1998 年頃まで
設置場所	Laboratory I		
使用環境 空調、給配水等	空調なし (良)		
機材の状態	(良)		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	ローター異音等なし、カーボンブラシ良、 使用状況、バランス使用OK		
保守管理指導の 内 容	チャンバー内清掃及びバランスを取っての使用		
今後の問題点、 耐用見込み、等	2年位でカーボンブラシ交換下さい。		

立 会 い 者	内山専門家
---------	-------

ザンビア国感染症プロジェクト機材保守管理表

プロジェクト整理番号：		供与年度	1982
機材名	(和文) 蒸留水製造装置 (英文) Auto-Still		
メーカー名	ヤマト科学(株)	製品番号	WA-22#167008 WA-32#171014
製造年月	1982年 2月 6日	通常耐用年数	1990年頃まで
設置場所	D-BLOCK		
使用環境 空調、給配水等	良		
機材の状態	<ul style="list-style-type: none"> ・WA-22 缶石大、及び内部ホース劣化大 ・WA-32 内部ホース劣化大 		
保守点検の内容 及び 点検後の状態	<ul style="list-style-type: none"> ・WA-22 缶石清掃、フロート外筒連結管詰り、手直し <p style="text-align: center;">WA-22、WA-32 動作OK</p>		
保守管理指導の 内 容	<p style="text-align: center;">↓</p> スペアパーツがまだかなりあり（在庫）、本体内部のホース類の交換のみで使用可となるものなので、本来破棄する予定であったそうですが、内山専門家にお話して検討いただくこととしました。		
今後の問題点、 耐用見込み、等	部品交換にて、4～5年使用可		

立会い者	内山専門家
------	-------

